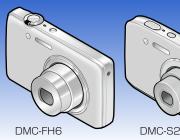
Panasonic

# 取扱説明書 詳細操作編
## デジタルカメラ

品番 DMC-FH6
DMC-S2

LUMIX

DMC-FH6

DMC-S2

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●ご使用の前に「安全上のご注意」（取扱説明書 基本操作編）を必ずお読みください。

困ったときは？

メッセージ表示：89ページ
Q&A　故障かな？と思ったら：91ページ

| 最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。 |
| --- |
| http://panasonic.jp/support/dsc/ |

VQT4G43-1
M1211KZ1032

# 知りたいことの探し方

取扱説明書 詳細操作編では、知りたいことを以下のページから探すことができます。
参照ページをクリックすると該当ページへ移動するので、知りたいことを素早く探せます。



■本書の見方
- 本文中やさくいんの参照ページをクリックすると、そのページに移動します。
- Adobe Readerの画面上にある検索入力欄にキーワードを入力すると、本文を検索できます。
- お使いのAdobe Readerのバージョンによっては、操作方法などが異なる場合があります。
- 撮影モード表示について

- ページ下端にあるリンクについて

●お使いの機種によりイラストと画面は異なる場合があります。本書では機種により操作などが大きく異ならない場合、DMC-FH6を例に記載しています。
●お使いの機種により、操作や手順、機能が異なる場合は、それぞれの品番を記載して区別しています。
（例）　DMC-FH6
DMC-S2

# 目次




(次のページに続く)

## 再生・編集



## 他の機器との接続



## その他 Q&A



「取扱説明書 詳細操作編」は、下記サポートサイトでもご覧いただけます。
http://panasonic.jp/support/dsc/

## 知りたいこと目次

# ご使用の前に

■本機の取り扱いについて…

**本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。**

●下記のような状態で使用すると、レンズや液晶モニター、外装ケースが破壊される可能性があります。
また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。
- 本機を落とす、またはぶつける
- 本機をズボンのポケットに入れたまま座る、またはいっぱいになったかばんなどに無理に入れる
- 本機に取り付けたストラップに、アクセサリーなどをぶら下げる
- レンズ部や液晶モニターを強く押さえつける

**本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。**
**ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。**

●下記のような場所で使用すると、レンズやボタンの隙間から液体や砂、異物などが入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。
- 砂やほこりの多いところ
- 雨の日や浜辺など水がかかるところ

■露付きについて（レンズや液晶モニターが曇るとき）…

●露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズや液晶モニターの汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
●露付きが起こった場合、電源をOFFにし、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。


（次のページに続く）

## ご使用の前に

### ■事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

### ■撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

### ■著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。
個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

### ■「使用上のお願いとお知らせ」も、併せてお読みください(P.97)

# 付属品

付属品をご確認ください。（品番は2012年1月現在）

| | |
|---|---|
| □バッテリーパック<br>DMW-BCK7<br>• 充電してから<br>お使いください。<br><br>（本書では、「バッテリー」と表記します） | □ハンドストラップ<br>VFC4297<br> |
| □バッテリー<br>チャージャー※<br>DE-A91A<br><br>（本書では、「チャージャー」と表記します） | □USB接続ケーブル<br>K1HY08YY0015<br> |
| □CD-ROM<br>• ソフトウェア<br>• 取扱説明書 詳細操作編（本書）<br>（パソコンにインストールしてお使いください。）<br> | |

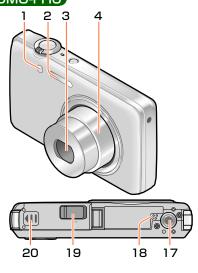
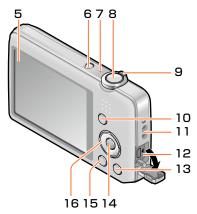
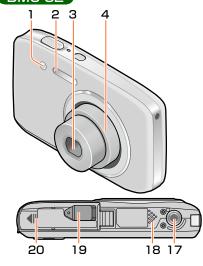
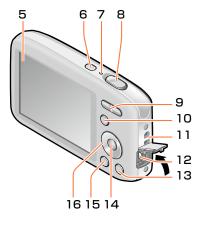
※予備のチャージャーを購入されるときは、別売品のチャージャー（DMW-BTC8）をお買い求めください。

- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- **メモリーカードは別売です。**その他、別売品については84ページを参照してください。

# 各部の名前

DMC-FH6

DMC-S2

（次のページに続く）

# 各部の名前

1 セルフタイマーランプ(P.44)／AF補助光ランプ(P.60)
2 フラッシュ発光部(P.42)
3 レンズ
4 レンズ鏡筒
5 液晶モニター(P.87)
6 電源ボタン(P.16)
7 マイク(P.24)
8 シャッターボタン(P.19)
9 ズームレバー DMC-FH6 (P.40)／
ズームボタン DMC-S2 (P.40)
10 [MODE]ボタン(P.18)
11 ストラップ取り付け部
12 [AV OUT/DIGITAL]端子(P.75、78、81)
13 [🗑 / ↩] (消去／戻る)ボタン(P.29)
14 [MENU/SET]ボタン
15 再生ボタン(P.20)
16 カーソルボタン
17 三脚取り付け部
18 スピーカー部
19 カプラーカバー(P.85)
- ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター(別売:DMW-AC5)とDCカプラー(別売:DMW-DCC10)を使用してください。接続について、詳しくは85ページをお読みください。
20 カード／バッテリー扉(P.13)

落下防止のため、ハンドストラップの使用をお勧めします。

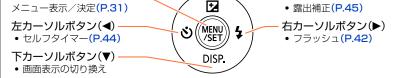
## カーソルボタン

MENU/SET
メニュー表示／決定(P.31)

左カーソルボタン(◀)
- セルフタイマー(P.44)

下カーソルボタン(▼)
- 画面表示の切り換え

上カーソルボタン(▲)
- 露出補正(P.45)

右カーソルボタン(▶)
- フラッシュ(P.42)

●本書では、操作するボタンをグレーで色分けしたり、▲▼◀▶で表しています。

●製品のイラストや画面は、実物と異なる場合があります。
●動画撮影時はマイクを塞がないでください。
●三脚／一脚の種類や持ち方によっては、スピーカーが塞がれ、操作音などが聞こえにくくなる場合があります。

戻る

# バッテリーを充電する

お買い上げ時、バッテリーは充電されていません。充電してからお使いください。

■本機で使えるバッテリー(2012年1月現在)

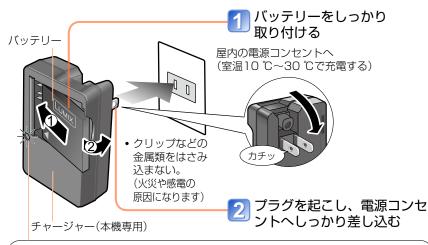
本機で使えるバッテリーはDMW-BCK7です。

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をお勧めいたします。
なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- **本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。**

1 バッテリーをしっかり取り付ける

- クリップなどの金属類をはさみ込まない。(火災や感電の原因になります)

2 プラグを起こし、電源コンセントへしっかり差し込む

**充電ランプ(CHARGE)**

| | |
|---|---|
| 点灯 | ：充電中(使い切ってから充電した場合、約120分) |
| 消灯 | ：充電完了(電源コンセントからチャージャーを抜いてバッテリーを外す) |
| 点滅したら | • バッテリーの温度が低すぎる、または高すぎるため、通常よりも充電時間がかかります。(充電を完了できないことがあります)<br>• バッテリーやチャージャーの端子部が汚れています。乾いた布でふいてください。 |



(次のページに続く)

# バッテリーを充電する

## 撮影可能枚数と使用時間の目安

撮影枚数と使用時間は、周囲環境や使用条件によって変わります。
フラッシュやズームなどを多用した場合や、寒冷地の低温下などでは、下記より撮影枚数や使用時間が減少することがあります。

| 記録可能枚数 | 約280枚 |
|---|---|
| 撮影使用時間 | 約140分 |

●CIPA※規格の撮影条件

※CIPAは、カメラ映像機器工業会（Camera & Imaging Products Association）の略称です。

- 温度23 ℃／湿度50%RH
- 液晶モニターON
- 当社製SDメモリーカード（32 MB）使用
- 付属バッテリー使用
- 電源を入れ、30秒後に撮影開始
（手ブレ補正［ON］）
- 通常撮影モード
- 30秒間隔で、1枚撮影
- フラッシュを2回に1回フル発光
- 撮影ごとにズーム操作
（W端→T端、またはT端→W端）
- 10枚撮影ごとに電源を切り、バッテリーを冷ます

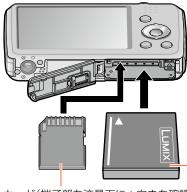
撮影間隔が長いと枚数は減り、例えば上記の撮影条件において2分間隔で撮影した場合は約1/4になります。

| 再生使用時間 | 約240分 |
|---|---|

●バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。また、高温/低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。
●充電中や充電後は、バッテリーが温かくなります。
●充電後でも、長期間放置すると、使わなくてもバッテリーを消耗します。
●頻繁な継ぎ足し充電はお勧めできません。
（充電回数が増えると使用時間が短くなり、バッテリーが膨らむ特性があります）
●著しく使用できる時間が短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

# バッテリーやカード(別売)を入れる・取り出す

充電したバッテリー(向きを確認)

カード(端子部を液晶面に：向きを確認)
• 端子部には触れないでください。

**1** 電源をOFFにし、
扉を外側にスライドし(①)、図のように開く(②)

**2** バッテリーとカードを奥まで入れる

• バッテリー：
バッテリーを奥まで、ロック音がするまで確実に挿入し、バッテリーにレバーがかかっていることを確認する
• カード：
「カチッ」と音がするまで押し込む

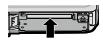
**3** 扉を閉じ、ロック音がするまで内側にスライドさせる

■取り出すとき

• **バッテリー：**
レバーを矢印方向へ引く。

DMC-FH6

DMC-S2

• **カード：**
中央を押す。

●使用後は、バッテリーを取り出してください。
●カードやバッテリーの取り出しは、電源を切り、液晶モニターのLUMIX表示が消えてから行ってください。(本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります)
●miniSDカードやmicroSDカード／microSDHCカードは、専用アダプターが必要です。アダプターだけを本機に入れたままにしないでください。(正常に動作しません)

# バッテリーやカード(別売)を入れる・取り出す

## 画像の保存先(カードと内蔵メモリー)

■内蔵メモリー(約70 MB)に保存するとき
- カードと内蔵メモリー間で画像をコピーできます。(P.74)
- カードよりも保存に時間がかかることがあります。

■カード(別売)に保存するとき
SD規格に準拠した次のカード(当社製推奨)が使用できます。

| カードの種類 | 容量 | 備考 |
|---|---|---|
| SDメモリーカード<br>miniSDカード※1<br>microSDカード※1 | 8 MB～2 GB | • 動画撮影の際は、SDスピードクラス※2が「Class6」以上のカードを使用してください。<br>• それぞれ、対応の機器でのみお使いになれます。<br>• SDXCメモリーカードをお使いの場合は、パソコンなどが対応しているかご確認ください。<br>http://panasonic.jp/support/sd_w/<br>• 左記の容量以外のカードは使えません。 |
| SDHCメモリーカード<br>microSDHCカード※1 | 4 GB～32 GB | |
| SDXCメモリーカード | 48 GB、64 GB | |

※1 専用のアダプターが必要です。
※2 SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。

(例) CLASS⑥ ⑥

- パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。(P.37)
- 書き込み禁止スイッチを「LOCK」にすると、撮影や消去、フォーマットなどができません。
- 大切な画像はパソコンなどへの保存をお勧めします。
(電磁波や静電気、故障などにより壊れたり消えることがあります)
- 最新情報：http://panasonic.jp/support/dsc/

書き込み禁止スイッチ

# バッテリーやカード(別売)を入れる・取り出す

## バッテリー残量と撮影可能枚数の表示

バッテリー残量表示(バッテリー使用時のみ)

（赤点滅）

赤点滅したら、バッテリーを充電または交換してください。

残り記録可能枚数・時間の目安

カードを入れていないときに表示(内蔵メモリーに保存されます)

**カードやメモリーへのアクセス動作中は…**

(カード)、または (内蔵メモリー)が、赤く点灯します。
点灯中は、画像の書き込みや読み出しなど動作中のため、電源を切ったり、バッテリーやカード、ACアダプター(別売)およびDCカプラー(別売)を取り外さないでください。(データ破損や故障の原因になります) また、本機に振動、衝撃や静電気を与えないでください。それにより動作が停止した場合は再度操作してください。

## 記録可能枚数・時間の目安

記録可能枚数・時間はカードの容量と比例して増減します。(撮影条件、カードの種類により変化します)

● WEBアップロード設定を行うと、カードの記録可能枚数・記録可能時間が減少することがあります。

■記録可能枚数(写真：枚)

| 記録画素数 | 内蔵メモリー | 2 GB | 32 GB | 64 GB |
|---|---|---|---|---|
| 4:3 14M | 12 | 330 | 5490 | 10980 |
| 4:3 5M | 25 | 650 | 10620 | 21490 |
| 4:3 0.3M | 390 | 10050 | 162960 | 247160 |

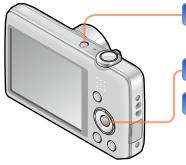
• 記録可能枚数が99999枚を超える場合は、[+99999]と表示されます。

■記録可能時間(動画撮影時) (h：時間、m：分、s：秒)

| 画質設定 | 内蔵メモリー | 2 GB | 32 GB | 64 GB |
|---|---|---|---|---|
| HD | – | 8m10s | 2h14m00s | 4h32m00s |
| VGA | – | 21m40s | 5h54m00s | 11h56m00s |
| QVGA | 2m25s | 1h02m00s | 16h59m00s | 34h21m00s |

• 動画を連続して撮影できるのは、約2 GBまでです。(画面には、2 GBで記録できる最大記録可能時間までしか表示されません。)表の時間表記は合計時間です。

# 時計を合わせる

お買い上げ時は時計が設定されていません。

## 1 電源ボタンを押す

電源が入り、**[時計を設定してください]**と表示されます。（お買い上げ時）

## 2 [MENU/SET]を押す

## 3 日時と表示方法を設定する

①▲▼で年を合わせ、▶を押す
②▲▼で月を合わせ、▶を押す
③同じように日・時・分を合わせ、▶を押す
④▲▼で年月日の表示順を選び、▶を押す
⑤▲▼で時刻表示形式を選び、[MENU/SET]を押す

- 中止するとき→[🗑 / ↩]ボタンを押す

## 4 [MENU/SET]を押す

- 前の画面に戻るとき→[🗑 / ↩]ボタンを押す

●時計を設定しないと、お店にプリントを依頼する場合に正しい日付がプリントされません。
●時計設定を行っていれば、カメラの画面上に日付が表示されていなくても、正しく日付をプリントできます。


（次のページに続く）

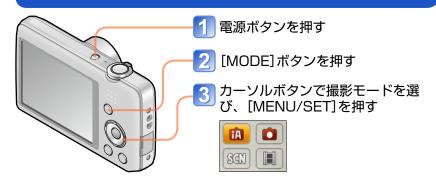
# 時計を合わせる

## 時計を合わせ直す

日時を合わせ直すときは、[セットアップ]メニューまたは[撮影]メニューから[時計設定]を選んで設定します。
- 時計設定はバッテリーを取り出しても、約3か月記憶します。(満充電のバッテリーを入れて約24時間経過した場合)

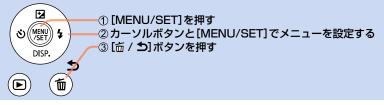
### 1 [セットアップ]メニューまたは[撮影]メニューから[時計設定]を選ぶ(P.33)

### 2 日時を設定する

①▲▼で年を合わせ、▶を押す
②▲▼で月を合わせ、▶を押す
③同じように日・時・分を合わせ、▶を押す
④▲▼で年月日の表示順を選び、▶を押す
⑤▲▼で時刻表示形式を選び、[MENU/SET]を押す
- 中止するとき→[🗑/↩]ボタンを押す

# 操作の流れ

■撮影モード

| | |
|---|---|
| iA | [インテリジェントオート]モード(P.21)<br>被写体や撮影状況に合わせて、カメラが最適な設定を自動で行います。 |
| (通常撮影アイコン) | [通常撮影]モード(P.38)<br>お好みの設定で撮影できます。 |
| SCN | [シーンモード] (P.46)<br>選択したシーンに合わせて、カメラが最適な設定を行います。 |
| (動画撮影アイコン) | [動画撮影]モード(P.24)<br>動画撮影できます。 |

必要に応じて[撮影]メニュー(P.53)や[セットアップ]メニュー(P.33)を設定してください。

## 操作の流れ

フラッシュ発光部
マイク
スピーカー
AF補助光ランプ
落下防止のため、
ハンドストラップの
使用をお勧めします。

### 4 カメラを構える

- 手ブレが気になるときは、両手で持ち、脇を締めて、肩幅くらいに足を開く。
- レンズを触らない。
- フラッシュ発光部、AF補助光ランプを塞がない、近くで見ない。
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないように気をつける。
- マイクやスピーカーを塞がない。

■ズーム

DMC-FH6 広く撮る（広角）

大きく撮る（望遠）

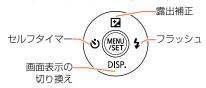
DMC-S2 広く撮る（広角）

大きく撮る（望遠）

■フラッシュ／セルフタイマーなど

### 5 シャッターボタンを押して撮影する

半押し
（軽く押してピント合わせ）

全押し
（押し込んで撮影）

動画撮影の場合は、撮影が始まります。終了するときは、もう一度シャッターを押してください。



（次のページに続く）

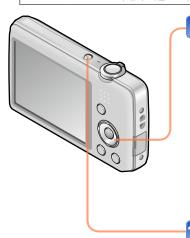
## 操作の流れ

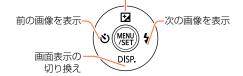
**6** 再生ボタンを押す

**7** [MODE] ボタンを押す

**8** カーソルボタンで再生モードを選び、[MENU/SET] を押す

■再生モード

| | |
|---|---|
|  | **[通常再生]モード**(P.25)<br>再生可能な画像をすべて表示します。 |
|  | **[スライドショー]モード**(P.63)<br>音楽に合わせて写真を順に自動再生します。 |
|  | **[絞り込み再生]モード**(P.64)<br>選択したカテゴリーの画像やお気に入りの画像のみを表示できます。 |
| | **[カレンダー検索]モード**(P.28、64)<br>カレンダー画面で選んだ日に撮影した画像を表示できます。 |

**9** カーソルボタンで再生する画像を選ぶ

- 動画やパノラマ写真の再生
- かんたんレタッチ
- ビューティレタッチ DMC-FH6

[再生] メニュー(P.68)を使って画像を編集したりできます。

**10** 電源ボタンを押す

# おまかせで撮る [インテリジェントオート]モード

撮影モード：iA 📷 SCN 🎞

カメラを被写体に向けると、「顔」「動き」「明るさ」「距離」などの情報から自動で最適な設定になるので、カメラまかせできれいに撮影できます。

フォーカス表示
（ピントが合う：点灯
ピントが合わない：点滅）

**1** 撮影モード選択画面を表示する

**2** [インテリジェントオート]モード（iA）を選ぶ

**3** 撮影する

半押し（軽く押してピント合わせ）　全押し（さらに押し込んで撮影）

## フラッシュについて

▶ を押して iA（iオート）または ⊛（発光禁止）を選びます。

- iA のとき、状況に応じて自動で最適なフラッシュに切り換わります。(P.42)
- iA◎ と iS◎ は、赤目軽減機能が働きます。
- iS◎ と iS は、シャッタースピードが遅くなります。

# おまかせで撮る［インテリジェントオート］モード

## 自動シーン判別

カメラを被写体に向けると自動でシーンを判別し、最適な設定に自動調整します。

判別した各シーンのアイコン

| | | | |
|---|---|---|---|
| | i人物 | | i夜景＆人物※（ 選択時のみ） |
| | i風景 | | i夜景※ |
| | i夕焼け | | iマクロ |
| | どのシーンにも当てはまらないとき | | |

※ 三脚やセルフタイマーをお勧めします。

- 撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンになることがあります。
- 意図したシーンにならないときは、目的にあったシーンモードで撮影することをお勧めします。
- 、 では、顔認識が働き、認識した顔にピントや露出を合わせます。

■逆光補正について

逆光とは、被写体の後ろ側から光が当たることです。このとき、被写体が暗く写りますので、画像を明るくすることにより自動で逆光を補正します。インテリジェントオートモード時は、逆光補正が自動で働きます。逆光を判別すると、画面に が表示されます。（逆光の状況によっては、正しく判定されない場合があります）

## Happyカラーについて

［カラーモード］（P.60）を［Happy］に設定すると、鮮やかな色調で記録されます。

■設定

①［MENU/SET］を押す
②◀ ▶ で［撮影］メニューを選び、［MENU/SET］を押す
③▲ ▼ で［カラーモード］を選び、［MENU/SET］を押す
④▲ ▼ で［Happy］を選び、［MENU/SET］を押す

# おまかせで撮る［インテリジェントオート］モード

## 設定項目について

インテリジェントオートモードで表示されないメニュー項目は設定できません。
表示されないセットアップメニューの項目は、通常撮影モードなどで設定した内容が反映されます。

●以下の項目では、他の撮影モードと設定できる内容が異なります。
撮影メニューの[記録画素数]、[カラーモード]、[連写] DMC-FH6

●次の機能は固定されます。
セットアップメニュー
- オートレビュー：2秒 DMC-FH6 ON DMC-S2
- 自動電源OFF：5分

撮影メニュー
- ISO感度：i ISO
- オートフォーカスモード：(顔認識)※
- 超解像：iA ZOOM
- デジタル赤目補正：ON
- ホワイトバランス：AWB
- 暗部補正：ON
- AF補助光：ON
- 手ブレ補正：ON

※ 顔が認識できないときは (23点)

●次の機能は使えません。
[露出補正][デジタルズーム]

戻る

# 動画を撮る [動画撮影]モード

撮影モード：iA 📷 SCN 🎞

## 1 撮影モード選択画面を表示する

## 2 [動画撮影]モード（🎞）を選ぶ

## 3 撮影を開始する

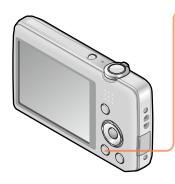
- シャッターボタンは全押し後すぐに放してください。
- ピント・ズームは撮影を開始したときの状態で固定されます。

## 4 終了する

- 動画を連続して記録できるのは、約2 GBまでです。（撮影可能時間も約2 GBで計算して表示されます）2 GB以上記録したいときは、再度シャッターボタンを押してください。

●カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
●オートフォーカスモードは ▦（23点）固定となります。
●手ブレ補正は、[ON]固定となります。
●空き容量がなくなると自動終了します。また、カードによっては、途中で撮影が終了することがあります。

# 画像を見る（通常再生）

カードが入っているときはカードの画像を、入っていないときは内蔵メモリーの画像を再生します。

## 1 再生ボタンを押す

- もう一度、再生ボタンを押すと、撮影モードになります。

## 2 画像を見る

ファイル番号

画像番号／トータル枚数

- 長押しすると早送り／早戻しできます。
- シャッターボタンを押すと、撮影モードに戻ります。

■画面表示を切り換える

▼ を押す

●パソコンで編集した画像は、本機で再生できない場合があります。
●再生ボタンを押して再生状態に切り換えると、約15秒後にレンズ鏡筒が格納されます。
●本機は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格DCF（Design rule for Camera File system）および、Exif（Exchangeable Image File Format）に準拠しています。
DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。


（次のページに続く）

## 画像を見る（通常再生）

### 動画を見る

**1** 動画アイコンが表示されている画像を選び、▲ を押す

再生が始まります。

動画記録時間
再生を開始すると、画面右上に再生経過時間が表示されます。
例）3分30秒のとき：3m30s

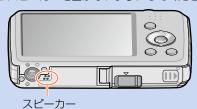
動画アイコン

■動画再生中の操作

●音量はズームレバー／ズームボタンで調整できます。

●他機で撮影した動画は、正しく再生できないことがあります。
●パソコンで見る場合は、CD-ROM（付属）の「PHOTOfunSTUDIO」で再生できます。
●スピーカーを塞がないようにしてください。

スピーカー

# 画像を見る（通常再生）

## 拡大して見る「再生ズーム」

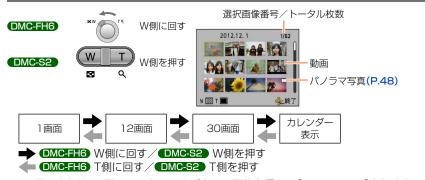
現在のズーム位置（1秒間表示）

➡ DMC-FH6 T側に回す／DMC-S2 T側を押す
⬅ DMC-FH6 W側に回す／DMC-S2 W側を押す

• ズーム位置を変えるとき→カーソルボタンで移動する

●動画再生時は、再生ズームは使えません。

## 画像を一覧で見る「マルチ再生」

➡ DMC-FH6 W側に回す／DMC-S2 W側を押す
⬅ DMC-FH6 T側に回す／DMC-S2 T側を押す

• 12画面または30画面で、カーソルボタンで画像を選んで[MENU/SET]を押すと、1画面表示されます。

●[！]と表示される画像は再生できません。


（次のページに続く）

# 画像を見る（通常再生）

## 画像を撮影日ごとに見る「カレンダー再生」

DMC-FH6 W側に回す／DMC-S2 W側を押す
DMC-FH6 T側に回す／DMC-S2 T側を押す

• カーソルボタンで撮影日を選び、［MENU/SET］を押すと、12画面表示に切り換わります。

● カレンダー画面は、撮影画像のある月のみ表示されます。また、時計設定せずに撮影した画像は、2012年1月1日に表示されます。
● ［ワールドタイム］で旅行先を設定して撮った画像は、旅行先の日付でカレンダー画面に表示されます。

# 画像を消す（消去）

カードが入っているときはカードの画像を、入っていないときは内蔵メモリーの画像を消去します。（一度消した画像は元に戻せません）

## 1 消去する画像を表示中に押す

• 確認画面が表示されます。カーソルボタンで［はい］を選び、［MENU/SET］を押す。

●消去中は、電源を切らないでください。
●十分に充電したバッテリーか、ACアダプター（別売）およびDCカプラー（別売）をご使用ください。
●プロテクトした画像は消去されません。また、次の場合も消去されません。
 • カードのスイッチが「LOCK」になっている
 • DCF規格(P.25)以外の画像

# 画像を消す（消去）

## 複数消去(50枚まで)／全画像を消去する

**1** 消去する画像を表示中に押す

**2** [複数消去]／[全画像消去]を選ぶ

●複数のとき
①カーソルボタンで画像を選び、[MENU/SET]を押す
- 選択を解除するとき→再度[MENU/SET]を押す

②カーソルボタンで[実行]を選び、[MENU/SET]を押す

選んだ画像

- [全画像消去]のとき[お気に入り]画像があると、[★(お気に入り)以外全消去]が選べます。(P.71)
- 確認画面が表示されます。カーソルボタンで[はい]を選び、[MENU/SET]を押す。
- 消去枚数により、時間がかかることがあります。

# メニューを使って設定する

メニュー操作は、以下の手順例を参考に操作してください。

**(例) [通常撮影]モード時に撮影メニューの[オートフォーカスモード]を変更する場合**

## 1 [MENU/SET]を押す

メニュー選択画面が表示されます。

## 2 [撮影]メニューを選び、[MENU/SET]を押す

## 3 ▲▼で[オートフォーカスモード]を選び、[MENU/SET]を押す

ページ
ズームレバー／ズームボタンでもページを切り換えられます。

## 4 ▲▼を押して設定を選び、[MENU/SET]を押す

選択した内容で設定されます。

• キャンセル→[🗑 / ↩]ボタン

設定内容
選択されている設定

## 5 [🗑 / ↩]ボタンを数回押す

メニューが終了し、元の画面に戻ります。

- 本書の操作画面例は、実物と異なる場合や一部を省略している場合があります。
- モードにより、表示されるメニューの種類や項目は異なります。
- メニュー項目により、設定方法が異なります。
- 撮影モード時は、シャッターボタン半押しでもメニュー画面を終了できます。


（次のページに続く）

# メニューを使って設定する

## メニューの種類

**[撮影]メニュー**（撮影モード時のみ）
お好みの設定で写真を撮影したい！ （P.53）
- 色合いや画素数などが設定できます。

**[セットアップ]メニュー**
本機をより便利に使いたい！ （P.33）
- 時計設定や音量など、使いやすさの設定ができます。

**[再生]メニュー**（再生モード時のみ）
撮った画像を活用したい！ （P.68）
- 画像の保護や縮小など、撮影した画像に対して設定ができます。

# [セットアップ]メニューを使う

[時計設定] [自動電源OFF] [オートレビュー]は、日時や電源などに関する大切な項目です。使う前に設定を確認してください。

- [セットアップ]メニューの設定方法は、31ページをお読みください。

| メニュー項目 | 設定内容・お知らせ |
| --- | --- |
| 時計設定<br>(P.16) | 日時と表示方法を設定します。 |
| ワールドタイム<br>お住まいの地域と海外旅行先の日時を設定します。 | お買い上げ時は、メッセージが表示されます。その場合は、[MENU/SET]を押して手順 ② へ。<br><br>①カーソルボタンで[ホーム]または[旅行先]を選び、[MENU/SET]を押す<br>②カーソルボタンで地域を選択し、[MENU/SET]を押す<br>10:00 17:00 バンクーバー シアトル ロサンゼルス -17:00 戻る 選択 決定<br>選んだ都市・地域の現在時刻<br>都市・地域名<br>ホームとの時差<br>[旅行先]の場合<br><br>■サマータイムを設定する場合<br>手順 ② で ▲ を押す（再度押すと解除）<br><br>• 画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームエリアからの時差を参考に設定してください。<br>• 旅行先で撮影された画像には、再生時、画面に ✈ が表示されます。<br>• サマータイムを設定すると、現在時刻が1時間進みます。設定を解除すると、自動的に戻ります。 |

## [セットアップ]メニューを使う

- [セットアップ]メニューの設定方法は、31ページをお読みください。

| メニュー項目 | 設定内容・お知らせ |
|---|---|
| DMC-FH6<br>操作音<br>操作音やシャッター音を変更します。 | **操作音音量**<br>：音量小／大／切から選ぶ |
| | **操作音音色**<br>❶／❷／❸：操作音の種類を選ぶ |
| | **シャッター音音量**<br>：シャッター音量小／大／切から選ぶ |
| | **シャッター音音色**<br>❶／❷／❸：シャッター音の種類を選ぶ |
| DMC-S2<br>操作音<br>操作音の音量を調整します。 | ：音量小／大／切から選ぶ |
| スピーカー音量<br>スピーカー音量を調整します。（7段階） | 0／1／2／3／4／5／6<br>• テレビ接続時、テレビのスピーカーの音量は調整できません。また、このとき本機のスピーカーから音は出ません。 |
| 液晶調整<br>液晶モニターの明るさや色合いを調整します。 | ①▲▼で設定項目を選び、◀▶で調整する<br>②[MENU/SET]を押す<br>• 被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。 |

## [セットアップ]メニューを使う

- [セットアップ]メニューの設定方法は、31ページをお読みください。

| メニュー項目 | 設定内容・お知らせ |
|---|---|
| フォーカスアイコン<br>フォーカスアイコンを変更します。 | ●／✿／♡／★／♫／🚗 |
| 自動電源OFF<br>使わない間、電源を切ってバッテリーの消費を防ぎます。 | **2分／5分／10分／OFF**<br>• 再度使うとき→電源ボタンを押す<br>• 次のときは働きません。<br>ACアダプター(別売)およびDCカプラー(別売)使用時、パソコン・プリンター接続時、動画撮影／再生時、スライドショー中、自動デモ再生中<br>• インテリジェントオートモード時は[5分]に固定されます。 |
| オートレビュー<br>撮影直後に写真を自動表示します。 | DMC-FH6<br>**1秒／2秒**<br>**ホールド：**いずれかのボタン(▼ 以外)を押すまで自動再生画面のままにする<br>**OFF** |
| | DMC-S2<br>**ON／OFF** |
| | • インテリジェントオートモードは、[2秒] DMC-FH6 または[ON] DMC-S2 に固定されます。<br>• [連写]、シーンモードの[パノラマ] [フォトフレーム]は、設定にかかわらず撮影直後に自動表示されます。<br>• 動画はオートレビューできません。 |

## [セットアップ]メニューを使う

- [セットアップ]メニューの設定方法は、31ページをお読みください。

| メニュー項目 | 設定内容・お知らせ |
| --- | --- |
| 設定リセット<br>[撮影]メニューと[セットアップ]メニューの設定をお買い上げ時の設定に戻します。 | **撮影設定**<br>**セットアップ設定**<br>• セットアップ設定をリセットした場合、シーンモードの[赤ちゃん][ペット]の月齢/年齢もリセットされます。<br>• フォルダー番号、時計設定はリセットされません。<br>• レンズ機能のリセットにより、動作音がすることがありますが、異常ではありません。 |
| 映像出力<br>AVケーブルでテレビなどに接続したときの設定を変更します。<br>(再生時のみ) | **ビデオ出力方式**<br>NTSC(日本やアメリカなど)／PAL(ヨーロッパなど)<br>**TV画面タイプ**<br>16:9／4:3 |
| 回転表示<br>縦向きに撮った写真を自動的に回転して表示します。 | :テレビで表示される映像と本機の液晶画面の両方で回転して縦向きに表示します。<br>: テレビで表示される映像のみ、回転して縦向きに表示します。<br>OFF<br>• 動画は、回転表示できません。<br>• レンズを上や下に向けて撮影した写真や、他機で撮影した写真は、回転されない場合があります。<br>• マルチ再生時は回転して表示されません。<br>• パソコンではExif(P.25)に対応した環境(OS、ソフトウェア)でのみ、回転して表示されます。 |

## [セットアップ]メニューを使う

- [セットアップ]メニューの設定方法は、31ページをお読みください。

| メニュー項目 | 設定内容・お知らせ |
| --- | --- |
| Ver. バージョン表示<br>本体のファームウェアのバージョンを確認します。 | 現在のバージョンが表示されます。 |
| フォーマット<br>[内蔵メモリーエラー]または[メモリーカードエラー]が表示されたときや、内蔵メモリーまたはカードをフォーマット(初期化)するときに行います。<br>**フォーマットすると、データを元に戻すことができません。よく確認してからフォーマットしてください。** | • 十分に充電したバッテリーまたはACアダプター(別売)およびDCカプラー(別売)が必要です。内蔵メモリーをフォーマットするには、カードを抜いてください。(カード挿入状態では、カードのみ、カードがない場合は、内蔵メモリーのみフォーマットされます)<br>• フォーマットは、必ず本機で行ってください。<br>• **プロテクトされた画像も含め、すべてのデータが消去されます。**<br>• フォーマット中は、電源を切ったり、他の操作をしないでください。<br>• 内蔵メモリーのフォーマットには時間がかかることがあります。<br>• フォーマットできないときは、販売店にご相談ください。 |
| DEMO デモモード<br>機能のデモを表示します。 | **手ブレ補正デモ：**<br>手ブレをグラフで表示する(目安)<br>手ブレ量<br>補正後の手ブレ量<br>• デモ画面表示中は、[MENU/SET]を押すごとに、手ブレ補正がONとOFFに切り替わります。 |
| | **自動デモ：**本機の特長をスライドショーで見る<br>**ON／OFF**<br>• テレビなどには表示できません。 |

# お好みの設定で撮る [通常撮影]モード

撮影モード：iA ● SCN 🎞

撮影メニューなど、各種設定を変えて、お好みの設定で撮影できます。

## 1 撮影モード選択画面を表示する

## 2 [通常撮影]モード(●)を選ぶ

## 3 撮影する

半押し
(軽く押してピント合わせ)

全押し
(さらに押し込んで撮影)

■画面表示を切り換える
▼ を押す

●手ブレ警告表示が表示されたときは、[手ブレ補正]、三脚、[セルフタイマー]などを使用してください。
●絞り値やシャッタースピードが赤色で表示されているときは、適正露出になっていません。フラッシュを使うか、[ISO感度]の設定を変えてください。

# ピントの合わせ方

撮りたいものが中央にないときなどに便利です。

## 1 被写体にピントを合わせる

AFエリアを
被写体に合わせ

半押しのまま

**フォーカス表示**
（ピントが合う：点灯
ピントが合わない：点滅）

**AFエリア**
（被写体にピントを合わせる。
ピントが合う：緑
ピントが合わない：赤）

## 2 撮りたい構図に戻し、撮影する

全押し

AFエリア

●次の被写体や撮影環境では、ピントが合いにくいことがあります。
- 動きの速い被写体
- 非常に明るい、または濃淡のないもの
- ガラス越しや光るものの近くで撮るとき
- 暗いときや手ブレしているとき
- 被写体に近すぎるとき
- 遠くと近くを同時に撮るとき

### ■最短撮影距離

| ズームの位置 | レンズ前からの最短撮影距離 |
|---|---|
| W端 | 5 cm |
| T端 | 1 m |

※W端からT端にズームを働かせると、段階的に最短撮影距離が変化します。

●ピントが合わないときは、フォーカス表示が点滅し、「ピピピピッ」と音がします。ピントの合う範囲が赤色で表示されますので、参考にしてください。なお、範囲外ではフォーカス表示が点灯しても、ピントが合っていないことがあります。
●暗いときやズーム倍率によっては、AFエリアが大きく表示される場合があります。

フォーカス表示

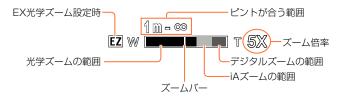
ピントが合う範囲

# ズームを使って撮る

撮影モード：iA SCN

ズームを使って、写す範囲を調整できます。

DMC-FH6　広く撮る（広角）　W　T　大きく撮る（望遠）

DMC-S2　広く撮る（広角）　W　T　大きく撮る（望遠）

- ピントは、ズームしたあとに合わせてください。
- ズーム中、レンズ鏡筒には触れないでください。
- 倍率、画面のバー表示は目安です。
- ズームレバー／ズームボタンを操作すると、多少音がしたり振動したりしますが、故障ではありません。


（次のページに続く）

# ズームを使って撮る

## ズームの種類と用途

記録画素数を変更すると、ズーム倍率が変わります。(P.53)

### ■光学ズーム

撮影メニューの[記録画素数]で EZ の付いていないものを選んだ場合、
最大5倍 DMC-FH6 ／最大4倍 DMC-S2 までズームできます。

●シーンモードの[パノラマ]では光学ズームは働きません。

### ■EX光学ズーム

撮影メニューの[記録画素数]で EZ の付いたものを選んだ場合、画質を劣化させることなく、さらにズームできます。ズーム倍率は、記録画素数によって変化します。
EZは、extended optical zoomの略で、EX光学ズームを表します。

●次のとき、EX光学ズームは働きません。
- [動画撮影]モード
- シーンモードの[パノラマ] [高感度] [フォトフレーム]
- 連写の [連写H] · [フラッシュ連写] 設定時 DMC-FH6

さらに倍率を上げたいときは、次のズームを併用できます。

### ■iAズーム

超解像技術によって、画質の劣化を抑えつつ、元のズーム倍率の2倍までズーム倍率を上げることができます。撮影メニューの[超解像]で[iA ZOOM]を選んでください。
(P.57)

●[iA ZOOM]にすると、画像に超解像技術が適用されます。
●次のとき、iAズームは働きません。
- [動画撮影]モード
- シーンモードの[パノラマ] [高感度]
- 連写の [連写H] · [フラッシュ連写] 設定時 DMC-FH6

### ■デジタルズーム

最大ズーム倍率がさらに4倍になります。ただし、ズームするほど画質は粗くなります。
撮影メニューの[デジタルズーム]を[ON]にしてください。(P.57)

●次のとき、デジタルズームは働きません。
- [インテリジェントオート]モード
- シーンモードの[パノラマ] [高感度] [フォトフレーム]
- 連写の [連写H] · [フラッシュ連写] 設定時 DMC-FH6
- iAズームを併用しているときは、デジタルズームの倍率が2倍までに制限されます。

# フラッシュを使って撮る

撮影モード：[iA] [●] [SCN] [▤]

## 1 ▶ で[フラッシュ]を表示する

## 2 カーソルボタンで種類を選び、[MENU/SET]を押す

| 種類と動作 | | こんなときに |
|---|---|---|
| ⚡A<br>i⚡A ※1 | オート<br>• 発光する／しないを自動で判断 | 通常使用 |
| ⚡A◎ | 赤目軽減オート※2<br>• 発光する(赤目を抑える)／しないを自動で判断 | 暗い場所で人物を撮る |
| ⚡ | 強制発光<br>• 必ず発光する | 逆光または蛍光灯など照明の下で撮る |
| ⚡S◎ | 赤目軽減スローシンクロ※2<br>• 発光する(赤目を抑え、シャッタースピードを遅くして明るく撮る)／しないを自動で判断 | 夜景を背景に人物を撮る(三脚をお勧めします) |
| ⊘ | 発光禁止<br>• 発光しない | フラッシュ禁止の場所 |

※1 [iA]のみ

※2 フラッシュが2回発光します。2回目の発光終了まで動かないようにしてください。また発光する間隔は被写体の明るさにより異なります。
撮影メニューの[デジタル赤目補正]を[ON]に設定すると、アイコンに [赤目補正アイコン] が表示され、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。([オートフォーカスモード]が [顔認識アイコン] (顔認識)のときのみ)

● 赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。

● フラッシュ発光部を手で塞いだり、近く(数cm)で見たりしないでください。また、ものを近づけないでください。(熱や光で変形することがあります)

フラッシュ発光部

● 撮影モードを変えるとフラッシュ設定が変わることがあります。

● シーンモードを変えると、フラッシュ設定はお買い上げ時の設定に戻ります。

● ⚡A(オート)などのマークが点滅中はフラッシュ充電中のため、撮影できません。

● フラッシュ光が十分に届かないときは、適切な露出やホワイトバランスにならない場合があります。

● 次の場合は、フラッシュの効果が十分に得られない場合があります。
  • シャッタースピードが遅い場合
  • [フラッシュ連写]の場合 DMC-FH6

● バッテリー残量が少ないときや、連続して発光させたときは、フラッシュの充電に時間がかかることがあります。

# フラッシュを使って撮る

## ■撮影モード別の使えるフラッシュの種類（▭：お買い上げ時の設定）

| | | iA | シーンモード | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | 1 2 | | | |
| A | ○ | ○※1 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| A◎ | ○ | × | ○ | ○ | × | × | × | ○ | × | × | ○ |
| | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| S◎ | × | × | × | × | × | ○ | × | × | × | × | × |
| | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1 被写体や明るさに応じて、iA、iA◎、iS◎、iSになります。
- 動画の撮影やシーンモードの 、、、、 では、フラッシュは使えません。

## ■ISO感度［ i ISO ］設定時のフラッシュ撮影可能範囲

DMC-FH6

| W端時 | 約40 cm～約4.1 m |
|---|---|
| T端時 | 約1.0 m～約1.6 m |

DMC-S2

| W端時 | 約40 cm～約3.3 m |
|---|---|
| T端時 | 約1.0 m～約1.6 m |

## ■フラッシュモード別のシャッタースピード

| A A◎ | 1/60～1/1600秒 |
|---|---|
| S◎ | 1/8※2～1/1600秒 |

※2 ISO感度［ i ISO ］設定時は最大1/4秒、［手ブレ補正］を［OFF］にしたときやブレが少ないときは最大1秒。その他、［インテリジェントオート］モードと［シーンモード］のシーンなどによって異なる。

# セルフタイマーで撮る

撮影モード：[iA] [●] [SCN] [動画]

三脚の使用をお勧めします。セルフタイマーを2秒に設定すると、シャッターボタンを押したときのカメラのブレを防ぐのにも効果的です。

## 1 ◀で[セルフタイマー]を表示する

## 2 カーソルボタンで時間を選び、[MENU/SET]を押す

## 3 撮影する

シャッターボタンを全押しすると、設定時間後に撮影します。

セルフタイマーランプ
（設定時間の間点滅します）

- カウントダウン中に中止するとき→[MENU/SET]を押す

- シャッターボタンを一度に全押ししても、撮影直前にカメラが自動的にピントを合わせます。
- セルフタイマーランプは点滅後、AF補助光として点灯することがあります。

戻る

# 露出を補正して撮る

撮影モード：iA 📷 SCN 🎞

逆光時や、暗すぎる/明るすぎる場合に露出を補正します。

## 1 ▲で[露出補正]を表示する

## 2 カーソルボタンで値を選び、[MENU/SET]を押す

補正しないとき：±0

- 暗すぎるときは、「+」方向へ補正します。
- 明るすぎるときは、「－」方向へ補正します。
- 露出補正後は、画面左下に補正値（+1/3 など）が表示されます。
- 設定した露出補正値は、電源をOFFにしても記憶されます。

●明るさによっては、補正できない場合があります。

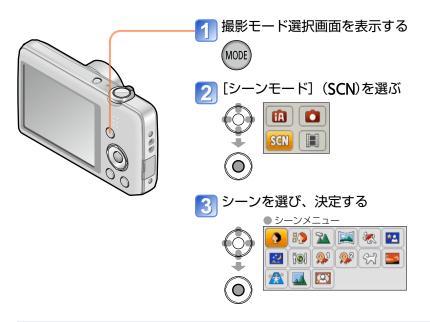
# 場面に合わせて撮る [シーンモード]

撮影モード：iA ◻ SCN ◻

シーンモードを使うと、場面に合った最適な設定(露出や色調など)で撮影できます。

**1** 撮影モード選択画面を表示する

**2** [シーンモード] (SCN)を選ぶ

**3** シーンを選び、決定する

●場面に合わないシーンを選ぶと、画像の色合いが変わることがあります。
●次の撮影メニューはカメラが自動調整するため、設定できません。
[ISO感度] [暗部補正] [超解像] [カラーモード]
●シーンモードのフラッシュについて(P.43)


(次のページに続く)

# 場面に合わせて撮る［シーンモード］

## 人物

昼間の屋外で、人物を引き立て、肌色を健康的に。

### ■撮影のコツ

- ズームの位置はできるだけT側（望遠）にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。

## 美肌

明るい昼間の屋外で、肌色をなめらかに。胸から上の撮影に効果的です。

### ■撮影のコツ

- ズームの位置はできるだけT側（望遠）にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。

## 風景

広がりのある遠くの被写体をくっきりと。


（次のページに続く）

# 場面に合わせて撮る［シーンモード］

## パノラマ

高速連写した複数枚の写真をつないで1枚のパノラマ写真に。

**1** カーソルボタンで撮影する方向を選び、[MENU/SET]を押す

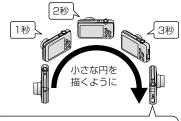
**2** 撮影方向を確認し、[MENU/SET]を押す

ガイドラインが表示されます。

**3** シャッターボタンを半押しし、ピントを合わせる

**4** シャッターボタンを全押しし、選択した方向へ小さな円を描くようにカメラを振って撮影する

- 左から右に撮影する場合

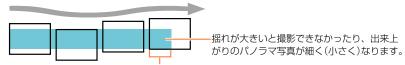
撮影の方向と進み具合（目安）

約4秒で半周するぐらいの速さで振る
- 一定の速さでカメラを振ってください。
- 速すぎても遅すぎても、うまく撮影できない場合があります。

**5** もう一度、シャッターボタンを全押しして撮影を終了する

- 撮影中に途中でカメラを止めても、撮影を終了できます。

■撮影のコツ

- 揺れないように、撮影方向へカメラを振る。

揺れが大きいと撮影できなかったり、出来上がりのパノラマ写真が細く（小さく）なります。

ここに表示されている被写体までが記録されます。（目安）

# 場面に合わせて撮る［シーンモード］

パノラマ

●ズーム位置はW端に固定されます。
●ピント、ホワイトバランス、露出は、最初の1枚目の画像に最適な値に固定されます。このために、撮影の途中の画像でピント位置や明るさが極端に異なる場合、パノラマ写真全体で一様なピントや明るさに撮影されない場合があります。
●次の機能は固定されます。
［手ブレ補正］：OFF　［日付焼き込み］：OFF
●複数画像を合成してパノラマ写真を作成するため、被写体が歪んだりつなぎ目が目立つ場合があります。
●パノラマ写真の縦横の画素数は、撮影方向や合成した画像の枚数により変化します。記録される最大の画素数は以下のとおりです。

| 撮影する方向 | 横 | 縦 |
|---|---|---|
| 水平 | 3200画素 | 720画素 |
| 垂直 | 960画素 | 3200画素 |

●次の被写体や撮影状況などでは、パノラマ写真が作成できなかったり、適切に合成されない場合があります。
• 単調な色や模様が続く被写体（空や砂浜など）
• 動いている被写体（人やペット、自動車、波や風に揺れる花など）
• 短時間で色や模様が変化する被写体（ディスプレイに映った画像など）
• 暗い場所
• 蛍光灯やろうそくなど、光源がちらついている場所

## ■再生について

［パノラマ］で撮影した写真は、他の写真と同じようにズームレバー／ズームボタンを操作して拡大表示できます。また、▲ を押すと、動画再生のように自動でスクロール表示できます。
• 動画再生と異なり、自動スクロール中は ◀▶ を押して早戻し／早送りすることはできません。（自動スクロール一時停止中はコマ戻し／コマ送りできます。）


（次のページに続く）

# 場面に合わせて撮る［シーンモード］

## スポーツ

スポーツなど、動きの速いシーンに。

■撮影のコツ

- 被写体から5 m以上離れる。

●シャッタースピードは最大1秒になります。

## 夜景＆人物

人物と夜景を、見た目に近い明るさで。

■撮影のコツ

- フラッシュを使う。
- 被写体はなるべく動かない。
- 三脚、セルフタイマーを使う。

●シャッタースピードは最大8秒になります。
●撮影後に、シャッターが閉じたまま（最大約8秒）になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。

## 夜景

夜景を鮮やかに。

■撮影のコツ

- 三脚、セルフタイマーを使う。

●シャッタースピードは最大8秒になります。
●撮影後に、シャッターが閉じたまま（最大約8秒）になることがありますが、信号処理のためで異常ではありません。


（次のページに続く）

# 場面に合わせて撮る［シーンモード］

## 料理

周囲の光に影響されず、料理を自然な色で。

## 赤ちゃん

赤ちゃんの肌を健康的に。また、フラッシュ発光時は弱めの光で発光。
（[赤ちゃん1］［赤ちゃん2]それぞれに設定できます）

1. カーソルボタンで[月齢/年齢]を選び、[MENU/SET]を押す
2. カーソルボタンで[設定]を選び、[MENU/SET]を押す
3. カーソルボタンで誕生日を入力し、[MENU/SET]を押す
4. カーソルボタンで[終了]を選び、[MENU/SET]を押す

■撮影のコツ

- 撮影前に、[月齢/年齢]が[ON]になっていることを確認してください。

● シャッタースピードは最大1秒になります。
● [月齢/年齢]は、CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパソコンで印刷設定できます。

## ペット

月齢/年齢を記録して撮る。
- 撮影のコツ、お知らせは上記[赤ちゃん]と同じです。


（次のページに続く）

# 場面に合わせて撮る［シーンモード］

## 夕焼け

夕焼けなどの風景の赤色を鮮やかに。

## 高感度

薄暗い室内で被写体のブレを抑える。

**1** カーソルボタンで記録画素数(画像横縦比)を選び、[MENU/SET]を押す

## ガラス越し

乗り物や建物の透明な窓ガラス越しに景色などを撮影するときに最適です。

- ガラスに映り込みやほこりなどの汚れが付いていると、ガラスにピントが合う場合があります。
- ガラスの色により自然な色にならない場合があります。
  (ホワイトバランスを調整すると適切な色になる場合があります。)

## フォトフレーム

フレームを一緒に焼き込む。

**1** カーソルボタンでフレームを選び、[MENU/SET]を押す

- 記録画素数は5 M(4:3)となります。
- ガイドライン表示はできません。

# 撮影メニューを使う

- [撮影]メニューの設定方法は、31ページをお読みください。

## [記録画素数] 写真の画素数を設定する

画像(粒子)のきめ細かさを設定します。この設定で撮影できる枚数が決まります。

■撮影モード：iA 📷 SCN 🎞

■設定

| 記録画素数の種類 | |
|---|---|
| 4:3 14 M | 4320×3240 |
| 4:3 10 M EZ※1 | 3648×2736 |
| 4:3 5 M EZ | 2560×1920 |
| 4:3 3 M EZ※1 | 2048×1536 |
| 4:3 0.3 M EZ | 640×480 |
| 3:2 12.5 M | 4320×2880 |
| 16:9 10.5 M | 4320×2432 |
| 1:1 10.5 M | 3232×3232 |

※1 iA(インテリジェントオートモード)時は設定できません。

●4:3 3:2 16:9 1:1 は、写真の横縦比を表します。
●被写体や撮影状況によっては、画像がモザイク状になることがあります。

設定の目安

| 画素数が大きい | ←→ | 画素数が小さい※2 |
|---|---|---|
| きめ細かい | | 粗い |
| 撮影枚数が少ない | | 撮影枚数が多い |

※2 例えば、[0.3 M EZ]は、データ容量が小さいので、Eメールでの送付などに便利です。

# 撮影メニューを使う

- [撮影]メニューの設定方法は、31ページをお読みください。

## [画質設定] 動画の画像サイズを設定する

■撮影モード：

■設定

<table>
<tr><th>画質設定</th><th>画像サイズ</th><th>コマ数</th><th>画像横縦比</th></tr>
<tr><td>HD</td><td>1280×720画素</td><td rowspan="3">30コマ/秒</td><td>16:9</td></tr>
<tr><td>VGA</td><td>640×480画素</td><td rowspan="2">4:3</td></tr>
<tr><td>QVGA※</td><td>320×240画素</td></tr>
</table>

※内蔵メモリーに記録する場合は、[QVGA]固定となります。

- 動画撮影時の環境によっては、静電気や電磁波などにより、一瞬画面が黒くなったり、ノイズが記録される場合があります。
- 動画を撮影する際は、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売)およびDCカプラー(別売)の使用をお勧めします。
- 本機で撮影された動画を他機で再生すると、画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また、撮影情報が正しく表示されない場合があります。

## [ISO ISO感度] 光に対する感度を設定する

ISO感度(光に対する感度)を自分で設定します。
暗い場所で明るく撮りたいときは、高く設定することをお勧めします。

■撮影モード：

■設定：ISO(インテリジェントISO)／100／200／400／800／1600

設定の目安

| ISO感度 | 100 ←→ | 1600 |
|---|---|---|
| 適した撮影場所 | 明るい(屋外) | 暗い |
| シャッタースピード | 遅くなる | 速くなる |
| ノイズ | 減る | 増える |
| 被写体ブレ | 多い | 少ない |

- [ ISO ]は、被写体の動きと明るさに応じて、最高1600までの範囲で自動設定します。

# 撮影メニューを使う

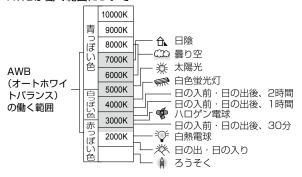
• [撮影] メニューの設定方法は、31ページをお読みください。

## [WB ホワイトバランス] 色合いを設定する

色合いが不自然なときに光源に合わせて自然な色に調整します。

■撮影モード：

■設定：AWB（自動調整、通常推奨）／（晴天の屋外）／（曇りの屋外）／（屋外晴天下の日陰）／（白熱灯）／（SET で設定した値を使用）／SET（AWB、、、、では合わないときに手動設定）

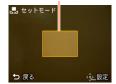
AWBが働く範囲について

■手動で設定するとき（SET）

撮りたい光源の下で白いものを写して色を合わせます。

①SET を選び、[MENU/SET] を押す。

②紙など白いものを写し、[MENU/SET] を押す。

• ホワイトバランスが に設定されます。
• 電源をOFFにしても、設定したホワイトバランスは記憶されます。
• 被写体が明るすぎたり、暗すぎたりすると、正しくホワイトバランスが設定できない場合があります。そのときは、適切な明るさに調整して、再度設定してください。

枠内に白いもの
だけ映す（手順 ②）

● AWBの働く範囲外では、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、AWBの働く範囲内でも、光源が複数の場合は、正常に働かない場合があります。
● 蛍光灯やLEDなどの照明下では [AWB] または [SET] に設定することをお勧めします。
● 以下のシーンモードでは、[AWB] に固定されます。
[風景] [夜景&人物] [夜景] [料理] [夕焼け]
● シーンモードを切り換えると、[AWB] に戻ります。

## 撮影メニューを使う

• [撮影] メニューの設定方法は、31ページをお読みください。

### [AF オートフォーカスモード] ピントを合わせる方法を変える

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を変えられます。

■撮影モード：iA 📷 SCN 🎞

■設定：(顔認識)／(23点)／(1点)

| 人物を正面から撮るとき<br><br>(顔認識) | 顔を認識して(最大15人)顔に露出やピントが合います。<br><br>AFエリア<br>黄色：シャッターボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わる。<br>白色：複数の顔を認識すると表示。<br>黄色のAFエリア枠内と同じ距離にある顔にはピントが合います。 |
|---|---|
| 被写体が中央にないとき<br>(23点) | AFエリアごとに最大23点までピントを合わせます。<br>(ピントがすべて合ってから、AFエリアを表示します) |
| ピントを合わせる位置が決まっているとき<br>(1点) | 画面中央のAFエリアにピントが合います。(ピントが合いにくいときにお勧め) |

● 次のときは(顔認識)に設定できません。
シーンモードの[パノラマ] [夜景] [料理]

● (顔認識)設定時に、カメラが誤って人物以外を顔と認識したときは、(顔認識)以外の設定に変えてください。

● 被写体の動きが速いときなど、状況によって顔を認識できない場合は、(23点)に切り換わります。

# 撮影メニューを使う

• [撮影] メニューの設定方法は、31ページをお読みください。

## [i◑ 暗部補正] コントラストを自動調整する

背景と被写体の明暗差が大きい場合に、コントラストや露出を自動調整して見た目に近い色にします。

■撮影モード：

■設定：ON／OFF

● 暗部補正が働くと、i◑ の色が変わります。
● [ISO感度] を [100] に設定していても、暗部補正が働いたときは、ISO感度の設定より高い感度で撮影されることがあります。

## [I.R 超解像] くっきりした画質にする

超解像技術を使って、より輪郭のはっきりした、解像感がある写真を撮影できます。また、[iA ZOOM] を設定すると、画質の劣化を抑えつつ元のズーム倍率の2倍までズーム倍率を上げることができます。

■撮影モード：

■設定：ON／iA ZOOM／OFF

● iAズームについては、41ページをお読みください。
● インテリジェントオートモード時は [iA ZOOM] に固定されます。
● シーンモードの [高感度] は [ON]、[パノラマ] では [OFF]、それ以外のシーンモードで [iA ZOOM] に固定されます。

## [ デジタルズーム] さらに拡大する

最大ズーム倍率がさらに4倍になります。（ただし、ズームするほど画質は粗くなります。）

■撮影モード：

■設定：ON／OFF

● iAズームを併用しているときは、デジタルズームの倍率が2倍までに制限されます。

# 撮影メニューを使う

- [撮影]メニューの設定方法は、31ページをお読みください。

## [連写] 連写で撮る DMC-FH6

シャッターボタンを全押ししている間、連続して写真を撮ることができます。

■撮影モード：

■設定：

| 設定 | 設定内容 |
|---|---|
| [連写] | 最高連写速度：約1.5コマ／秒<br>• カードまたは内蔵メモリーがいっぱいになるまで連写できますが、途中から連写速度が遅くなります。（遅くなるタイミングは、カードの種類、記録画素数により異なる）<br>• ピントは1枚目で固定されます。露出とホワイトバランスは、1枚ごとに調整します。<br>• セルフタイマー使用時は3枚に固定されます。<br>• 連写を設定するとフラッシュは発光禁止になります。 |
| H [高速連写] | 最高連写速度：約10コマ／秒<br>• 連写コマ数※<br>内蔵メモリー：約15コマ以上<br>カード：約15コマ～最大100コマ<br>※撮影条件やカードによって異なります。<br>• ピント、露出、ホワイトバランスは、1枚目で固定されます。<br>• [ISO感度]は自動的に調整されます。<br>• セルフタイマー使用時は3枚に固定されます。<br>• 連写を設定するとフラッシュは発光禁止になります。 |
| [フラッシュ連写] | • 連写コマ数※：最大5コマ<br>※撮影条件やカードによって異なります。<br>• ピント、露出、フラッシュ発光量は、1枚目で固定されます。<br>• [ISO感度]は自動的に調整されます。<br>• セルフタイマー使用時は5枚に固定されます。 |
| [OFF] | 連写を解除します。 |

## 撮影メニューを使う

• [撮影]メニューの設定方法は、31ページをお読みください。

### [ 連写] 連写で撮る DMC-FH6

●[高速連写][フラッシュ連写]について
 • [通常撮影]モードのみ設定できます。
 • 設定前の画像横縦比(P.53)によって記録画素数が変更されます。

| 画像横縦比 | 記録画素数 |
|---|---|
| 4:3 | 3 M |
| 3:2 | 2.5 M |
| 16:9 | 2 M |
| 1:1 | 2.5 M |

●ISO感度が高い場合、または暗い場所でシャッタースピードが遅くなる場合は、連写速度が遅くなることがあります。
●明暗差の大きい場所で動きのある被写体を追いながら連写した場合、最適な露出にならないことがあります。
●シーンモードの[パノラマ][フォトフレーム]では[OFF]に固定されます。

### [ 連写] 連写で撮る DMC-S2

シャッターボタンを全押ししている間、連続して写真を撮ることができます。

■撮影モード：iA ◎ SCN

■設定： ／OFF

●連写速度は、約1.5コマ／秒です。カードまたは内蔵メモリーがいっぱいになるまで連写できますが、途中から連写速度が遅くなります。(遅くなるタイミングは、カードの種類、記録画素数により異なる)
●ピントは1枚目で固定されます。露出とホワイトバランスは、1枚ごとに調整します。
●セルフタイマー使用時は3枚に固定されます。
●ISO感度が高い場合、または暗い場所でシャッタースピードが遅くなる場合は、連写速度が遅くなることがあります。
●連写を設定するとフラッシュは発光禁止になります。
●明暗差の大きい場所で動きのある被写体を追いながら連写した場合、最適な露出にならないことがあります。
●シーンモードの[パノラマ][フォトフレーム]では[OFF]に固定されます。

# 撮影メニューを使う

- [撮影]メニューの設定方法は、31ページをお読みください。

## [ カラーモード] 色の効果を設定する

■撮影モード：

■設定：標準／ヴィヴィッド※1（くっきり）／白黒／セピア／Happy※2

※1 [通常撮影]モードおよび[動画撮影]モードのみ

※2 [インテリジェントオート]モードのみ

## [AF AF補助光] 暗いところでピントを合わせやすくする

■撮影モード：

■設定： ON： シャッターボタン半押しでランプが点灯（AFが表示される）

OFF： ランプ消灯（暗やみで動物などを撮るときなど）

AF補助光ランプ

●AF補助光の有効距離は1 mです。
- 近くで見たり、指で塞がないでください。
- ズームや被写体の状態によっては、有効距離が短くなる場合があります。

●次のときは[OFF]に固定されます。
シーンモードの[風景] [夜景] [夕焼け] [ガラス越し]

## [ デジタル赤目補正] フラッシュの赤目現象を補正する

フラッシュの赤目軽減（ ）で撮影したときに、赤目を自動的に検出して、写真を補正します。

■撮影モード：

■設定：ON／OFF

●オートフォーカスモードが （顔認識）以外のときは、働きません。
●赤目の状態によっては、補正できない場合があります。
●[ON]に設定すると、フラッシュのアイコンに が付きます。

# 撮影メニューを使う

• [撮影]メニューの設定方法は、31ページをお読みください。

## [手ブレ補正] 手ブレを抑える

手ブレを自動で感知して補正します。

■撮影モード：iA ◘ SCN 🎞

■設定：ON／OFF

●次のときは補正が効きにくい場合があります。
手ブレが大きいとき、ズーム倍率が高いとき(デジタルズーム領域を含む)、被写体の動きが速いとき、室内や薄暗い場所で撮る(シャッタースピードが遅い)とき

## [日付焼き込み] 撮影日時を写真に焼き込む

撮影時に日付や日時を写真へ焼き込んで撮影できます。

■撮影モード：iA ◘ SCN 🎞

■設定：日付／日時／OFF

●写真に焼き込まれた撮影日時は消せません。
●[連写]設定時は焼き込めません。
●シーンモードの[パノラマ]ではOFFになります。
●日付焼き込みした写真は、お店やプリンターで日付プリント指定しないでください。(重なってプリントされることがあります)
●[インテリジェントオート]モードでは設定を変えられません。他の撮影モードでの設定内容が反映されます。

## [時計設定] 時計を合わせる

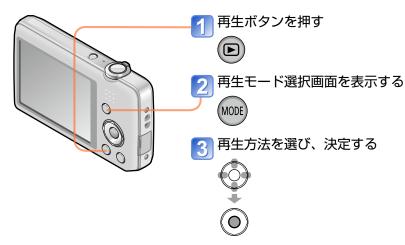
時計を設定します。[セットアップ]メニューの[時計設定]と同じ機能です。

# いろいろな再生方法 [再生]モード

撮影した画像をいろいろな方法で再生することができます。

1 再生ボタンを押す

2 再生モード選択画面を表示する

3 再生方法を選び、決定する

| 通常再生 | すべての画像を再生します。(P.25) |
|---|---|
| スライドショー | 撮影した画像を自動で連続再生します。(P.63) |
| 絞り込み再生 | 様々な条件で絞り込んで再生します。(P.64) |
| カレンダー検索 | 撮影した日付ごとに画像を表示します。(P.64) |

- カードが入っていないときは、内蔵メモリーの画像を再生します。
- 撮影モードから再生モードに切り換えたときは、再生モードは自動的に[通常再生]になります。


(次のページに続く)

# いろいろな再生方法 [再生]モード

## [スライドショー] 自動で順番に見る

音楽に合わせて写真を順に自動再生します。テレビで見るときにお勧めです。

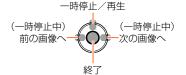
### 1 カーソルボタンで再生方法を選び、[MENU/SET]を押す

| | |
|---|---|
| 全画像 | すべての画像を再生。 |
| カテゴリー選択 | カテゴリーを選択して再生。(カーソルボタンでカテゴリーを選び、[MENU/SET]を押してください)(P.64) |
| お気に入り | [お気に入り]に設定した画像のみ再生。 |

### 2 カーソルボタンで再生効果を設定し、[MENU/SET]を押す

| 効果(画像の雰囲気にあった音楽と効果を選ぶ) | |
|---|---|
| おまかせ([カテゴリー選択]設定時のみ)／ナチュラル／スロー／スウィング／アーバン／OFF | |
| 設定 | |
| 再生間隔 | 1秒／2秒／3秒／5秒(効果[OFF]設定時のみ設定可能) |
| リピート | ON／OFF |
| 音楽 | ON／OFF |

### 3 カーソルボタンで[開始]を選び、[MENU/SET]を押す

■スライドショー中の操作

- 音量はズームレバー／ズームボタンで調節できます。

●[アーバン]は、画面効果として画像が白黒になることがあります。
●パノラマ写真が再生されるときは、[再生間隔]の設定が無効となります。
●縦向きに撮影した画像を表示するときは、一部の[効果]が動作しません。
●音楽効果を追加することはできません。
●スライドショーでは動画再生できません。動画の最初の画面が写真としてスライドショーされます。

# いろいろな再生方法 [再生]モード

## [ 絞り込み再生] 再生する画像を絞り込む

選択したカテゴリーの画像やお気に入りの画像を絞り込んで見ることができます。

### 1 絞り込む方法を選び、決定する

- [カテゴリー選択]：選択したカテゴリーの画像のみ表示。
- [お気に入り]： [お気に入り]に設定した画像のみ表示。

### 2 (手順 1 で[カテゴリー選択]を選んだ場合は、) カテゴリーを選び、決定する

| カテゴリー | シーンモードなどの撮影情報 |
|---|---|
| | 人物、i人物、美肌、夜景&人物、i夜景&人物、赤ちゃん |
| | 風景、i風景、パノラマ、夕焼け、i夕焼け、ガラス越し |
| | 夜景&人物、i夜景&人物、夜景、i夜景 |
| | スポーツ |
| | 赤ちゃん |
| | ペット |
| | 料理 |
| | 動画 |

## [ カレンダー検索] 撮影日別に見る

カレンダー画面で撮影日を選んで、その日に撮った画像だけを見ることができます。(P.28)

# 撮影した写真で楽しむ

## [かんたんレタッチ] 撮った写真を見栄え良くする

写真の色や明るさのバランスを整えます。

- [かんたんレタッチ]は、編集した画像を新しく作成します。内蔵メモリーまたはカードの空き容量を確認してから編集してください。

DMC-FH6

**1** 再生中に写真を選び、▲ を押す

**2** カーソルボタンで[かんたんレタッチ]を選び、[MENU/SET]を押す

**3** カーソルボタンで[ON]を選び、[MENU/SET]を押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと新規保存されます。
- [OFF]を選ぶと、元の状態を表示できます。

DMC-S2

**1** 再生中に写真を選び、▲ を押す

色や明るさが整えられた写真が表示されます。

**2** [MENU/SET]を押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと新規保存されます。

● 写真によっては効果が分からない場合があります。
● 写真によっては、レタッチ後にノイズが強調される場合があります。
● すでにレタッチされた写真は、[かんたんレタッチ]ができない場合があります。
● 他機で撮影した写真には、レタッチできない場合があります。
● 次の画像はレタッチできません。
  - 動画
  - シーンモードの[パノラマ]で撮った写真
  - シーンモードの[フォトフレーム]で撮った写真


(次のページに続く)

# 撮影した写真で楽しむ

## [ビューティレタッチ] 撮った顔写真にメイクする DMC-FH6

カメラが顔を認識して撮影した写真は、撮ったあとで写った顔にメイクなどのレタッチができます。
- [ビューティレタッチ]は、編集した画像を新しく作成します。内蔵メモリーまたはカードの空き容量を確認してから編集してください。

### 1 顔が写っている写真を選び、▲ を押す

### 2 カーソルボタンで[ビューティレタッチ]を選び、[MENU/SET]を押す

### 3 ◀▶ で顔を選び、[MENU/SET]を押す
- 矢印の付いている人物のみ選択できます。（1人しか検出されていない場合は、[MENU/SET]を押してください）

### 4 効果を設定する
①▲▼で適用する効果を選び、▶ を押す
②▲▼ で効果の設定を選び、◀ を押す
- ① ② を繰り返して、別の効果も設定できます。

| 効果 | 設定内容 |
|---|---|
| エステレタッチ | 肌の透明感を出したり、目や歯の色をより白くきれいに見せます。 |
| 肌色 | 肌の色を調整します。 |
| メイクアップレタッチ | 唇の色や顔の立体感を出したり、目の形をくっきりと見せます。 |

③[MENU/SET]を押してレタッチを完了する

### 5 カーソルボタンで[はい]を選び、[MENU/SET]を押す
- 効果を反映した画像との比較画面が表示されます。

### 6 [MENU/SET]を押す
- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと補正した写真が新規保存されます。


（次のページに続く）

# 撮影した写真で楽しむ

## [ビューティレタッチ] 撮った顔写真にメイクする DMC-FH6

- 編集済みの人物や、一度に二人以上の人物は編集できません。編集したい場合は、一度写真を保存してから人物を選び直してください。
- 保存する前に確認した写真と保存した写真とは、明るさや色合いが異なる場合があります。
- 他機で撮影した写真は補正できない場合があります。
- 動画やシーンモードの[パノラマ]で撮影した写真は、補正できません。
- 顔の検知がうまくできていない場合、意図どおりのレタッチができないことがあります。
- ビューティレタッチに適した写真を撮るには：
  - 顔を正面から撮影する
  - 極端に暗い場所での撮影を避ける
  - レタッチをかけたい部分をはっきりと撮影する
- ReallusionはReallusion社の商標です。

# 再生メニューを使う

画像共有サイトへアップロードする画像を設定したり、撮影した画像を縮小するなどの編集やプロテクト設定などができます。
- [再生]メニューの設定方法は、31ページをお読みください。
- 再生モードにより、表示されない再生メニューがあります。
- 他機で撮影した画像は、設定や編集ができない場合があります。
- [リサイズ(縮小)]や[トリミング(切抜き)] DMC-FH6 などは、編集した画像を新しく作成します。内蔵メモリーまたはカードの空き容量を確認してから編集してください。

## [WEBアップロード設定] Webで共有する画像を選ぶ

画像共有サイト(PicMate/Facebook/YouTube)へアップロードする画像を、本機で設定しておくことができます。
- LUMIX CLUB PicMate/Facebookへは写真のみ、YouTubeへは動画のみをアップロードすることができます。
- 内蔵メモリーの画像には設定できません。カードにコピー(P.74)してから[WEBアップロード設定]をしてください。

### 1 カーソルボタンで[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

### 2 画像を選び、設定する

● 1枚のとき
カーソルボタンで画像を選び、[MENU/SET]を押す

WEBアップロード設定
- 解除するとき
→再度[MENU/SET]を押す

● 複数のとき
カーソルボタンで画像を選び、[MENU/SET]を押す

WEBアップロード設定

- 解除するとき
→再度[MENU/SET]を押す
- 実行するとき
→カーソルボタンで[実行]を選び、[MENU/SET]を押す
  - 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

■画像共有サイトへアップロードする
[WEBアップロード設定]をすると、本機に内蔵のアップロードツールがカードへ自動的にコピーされます。パソコンに接続したあと(P.76)、アップロードの操作を行います。詳しくは、80ページをお読みください。

■全解除するとき ➡ 手順 1 で、[全解除]を選ぶ→[はい]を選び、決定する

●512 MB未満のカードでは設定できません。


(次のページに続く)

## 再生メニューを使う

• [再生]メニューの設定方法は、31ページをお読みください。

### [ リサイズ(縮小)] 画像サイズ(画素数)を小さくする

ホームページ用やメール添付などで送信しやすいように、写真の容量(記録画素数)を小さくします。(いちばん小さい記録画素数で撮影した写真は、それ以上小さくできません)

■1枚設定

**1** カーソルボタンで[1枚設定]を選び、[MENU/SET]を押す

**2** カーソルボタンで写真を選び、[MENU/SET]を押す

**3** カーソルボタンでサイズを選び、[MENU/SET]を押す

• 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

■複数設定

**1** カーソルボタンで[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

**2** カーソルボタンでサイズを選び、[MENU/SET]を押す

**3** カーソルボタンで写真を選び、[MENU/SET]を押す(50枚まで)

• 解除するとき
→再度[MENU/SET]を押す
• 実行するとき
→カーソルボタンで[実行]を選び、[MENU/SET]を押す

• 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

●リサイズすると画質が粗くなります。
●次の画像は、リサイズできません。
• 動画　• 日付焼き込み済みの写真　• パノラマ写真

## 再生メニューを使う

• [再生]メニューの設定方法は、31ページをお読みください。

### [✂ トリミング(切抜き)] 画像を切り抜く DMC-FH6

写真を拡大して、必要な部分を切り抜きます。

**1** カーソルボタンで写真を選び、[MENU/SET]を押す

**2** 写真を切り抜く部分を表示して、[MENU/SET]を押す

• 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと実行されます。

● トリミングすると画質が粗くなります。
● 次の画像は、トリミングできません。
• 動画　• 日付焼き込み済みの写真　• パノラマ写真

## 再生メニューを使う

• [再生] メニューの設定方法は、31ページをお読みください。

### [★ お気に入り] お気に入り画像を設定する

気に入った画像に ★ 印を付けておくと、お気に入り画像だけを再生したり、お気に入り画像以外を全消去したりすることができます。

**1** カーソルボタンで[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

**2** カーソルボタンで画像を選び、[MENU/SET]を押す

●1枚のとき

お気に入り設定

●複数のとき

お気に入り設定

• 解除するとき→再度[MENU/SET]を押す

■**全解除するとき** ➡ 手順 1 で[全解除]を選ぶ→[はい]を選び、決定する

## 再生メニューを使う

• [再生]メニューの設定方法は、31ページをお読みください。

### [ プリント設定] プリント設定する DMC-FH6

DPOFプリント対応のお店やプリンターでプリントするときに、画像・枚数・日付プリントの有無を指定できます。(対応しているかどうかはお店に確認してください)

**1** カーソルボタンで[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

**2** カーソルボタンで画像を選び、[MENU/SET]を押す

**3** カーソルボタンで枚数を設定し、[MENU/SET]を押す

([複数設定]時は 2 と 3 を繰り返す(999枚まで))

●1枚のとき

●複数のとき

• 日付プリントを設定／解除するとき→ ▶ を押す

■**全解除するとき** ➡ 手順 1 で、[全解除]を選ぶ→[はい]を選び、決定する

●プリンターによっては、プリンター側の設定が優先される場合があります。
●DCF規格に準拠していないファイルには設定できません。
●他機で設定されたDPOF情報(プリント設定)は利用することができない場合があります。その場合、DPOF情報をすべて解除してから本機で再度設定してください。
●[日付焼き込み]を設定して撮影した写真には、日付プリントを設定できません。
●動画には設定できません。

## 再生メニューを使う

• [再生]メニューの設定方法は、31ページをお読みください。

### [O‐π プロテクト] 画像を保護する

誤消去を防止します。設定すると、消去できなくなります。

**1** カーソルボタンで[1枚設定]または[複数設定]を選び、[MENU/SET]を押す

**2** カーソルボタンで画像を選び、[MENU/SET]を押す

●1枚のとき

プロテクト設定

●複数のとき

プロテクト設定

• 解除するとき→再度[MENU/SET]を押す

■全解除するとき ➡ 手順 1 で[全解除]を選ぶ→[はい]を選び、決定する
■全解除中に中止するとき ➡ [MENU/SET]を押す

●本機以外では無効になることがあります。

## 再生メニューを使う

- [再生]メニューの設定方法は、31ページをお読みください。

### [IN→SD 画像コピー] 内蔵メモリーの画像をコピーする

内蔵メモリーとカード間のコピーができます。

**1** カーソルボタンでコピーのしかた(方向)を選び、[MENU/SET]を押す

IN→SD：内蔵メモリーからカードへ、全画像をコピー。(手順 3 へ)
SD→IN：カードから内蔵メモリーへ、1枚コピー。

**2** カーソルボタンで画像を選び、[MENU/SET]を押す

**3** カーソルボタンで[はい]を選び、[MENU/SET]を押す

- 中止するとき→[MENU/SET]を押す
- 内蔵メモリーからカードへ全画像をコピーした場合は、自動的に再生画面に戻ります。

●コピーには時間がかかることがあります。コピー中は、電源を切ったり他の操作をしないでください。
●コピー先に同じ名前(フォルダー番号/ファイル番号)がある場合、[IN→SD](内蔵メモリーからカード)時は新しいフォルダーを作成してコピーします。[SD→IN](カードから内蔵メモリー)時はその画像はコピーされません。
●次の設定はコピーされません。コピー後に設定し直してください。
- プロテクト設定　• お気に入り設定　• プリント設定 DMC-FH6

●当社製デジタルカメラ(LUMIX)の画像のみコピーできます。

# テレビで見る

本機とテレビをAVケーブルで接続すると、写真や動画をテレビで見ることができます。

**準備：** • ［TV画面タイプ］(P.36)を設定する。
• 本機とテレビの電源を切る。

## 1 本機とテレビを接続する

• 当社製AVケーブル(別売：DMW-AVC1)をお使いください。

## 2 テレビの電源を入れ、接続する端子に合わせてテレビの入力を切り換える

## 3 本機の電源を入れ、再生ボタンを押す

端子の向きを確認し、まっすぐ入れる。（端子が変形して故障の原因になります）

AVケーブル
（別売：DMW-AVC1）

黄：映像

白：音声

■テレビやブルーレイディスクレコーダー／DVDレコーダーにSDカードスロットがあるとき

➡ SDカードスロットにSDメモリーカードを入れてください
• 写真のみ再生できます。
- 動画は再生できません。
- パノラマ写真は、再生できない場合があります。また、パノラマ写真の自動スクロール再生はできません。
• SDHCメモリーカードおよびSDXCメモリーカードをお使いの場合は、それぞれ対応の機器で再生してください。

●テレビの説明書もお読みください。
●縦に回転した画像は、多少ぼやけることがあります。
●ワイドテレビやハイビジョンテレビで横縦比が正しく表示されないときは、テレビ側で画面モードの設定を変えてください。
●本機のスピーカーからは音が出ません。

# パソコンに接続する

本機とパソコンを接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことができます。
- お使いのパソコンによっては、取り出したカードから直接読み込むこともできます。詳しくはパソコンの説明書をお読みください。
- SDXCメモリーカードにパソコンが対応していない場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。（撮影した画像が消去されますので、フォーマットしないでください）
  カードを認識しない場合は、下記のサポートサイトをご覧ください。
  http://panasonic.jp/support/sd_w/
- 取り込んだ画像はプリントやメール送信などにお使いいただけます。CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うと便利です。

## 付属のソフトウェアを使う

付属のCD-ROMには、以下のソフトウェアが収録されています。
パソコンにインストールしてお使いください。

### ■PHOTOfunSTUDIO 8.0 LE（Windows XP / Vista / 7）

パソコンに写真や動画を取り込んだり、取り込んだ画像を撮影日や撮影したデジタルカメラの機種名などで分類して整理することができます。
また、DVDへの画像書き込みやお好みの音楽や効果を付けてスライドショーを作成することなどができ、それらをDVDに保存することもできます。

### ■LoiLoScope -30日間フル体験版（Windows XP / Vista / 7）

LoiLoScopeは、お手持ちのパソコンをフル活用する、簡単に動画編集できるソフトウェアです。今までになかった机の上でカードを並べるようにして作るアナログ操作は、覚えることなく初めてでも思いのままに操作し、DVD、Webサイト、メール等々を使い、素早く動画や写真を友達に届けることができます。
- インストールされるのは、体験版ダウンロードサイトへのショートカットのみになります。
- **LoiLoScopeの詳しい使い方は、以下のサイトから「マニュアル」をダウンロードしてご覧ください。**
  **使い方Webサイト：http://loilo.tv/product/20**

# パソコンに接続する

## ソフトウェアをインストールする

- CD-ROMを入れる前に、他の起動中のアプリケーションソフトをすべて終了してください。

### 1 お使いのパソコンの環境を確認する

- **「PHOTOfunSTUDIO 8.0 LE」の動作環境**

<table>
<tr><td>対応OS</td><td colspan="2">Windows® XP(32 bit)SP3<br>Windows Vista®(32 bit)SP2<br>Windows® 7(32 bit/64 bit)およびSP1</td></tr>
<tr><td rowspan="3">CPU</td><td>Windows® XP</td><td>Pentium® Ⅲ 500 MHz以上</td></tr>
<tr><td>Windows Vista®</td><td>800 MHz以上</td></tr>
<tr><td>Windows® 7</td><td>1 GHz以上</td></tr>
<tr><td>ディスプレイ</td><td colspan="2">1024×768以上(1920×1080以上を推奨)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">搭載メモリ</td><td>Windows® XP</td><td rowspan="2">512 MB以上</td></tr>
<tr><td>Windows Vista®</td></tr>
<tr><td>Windows® 7</td><td>1 GB以上(32 bit)<br>2 GB以上(64 bit)</td></tr>
<tr><td>ハードディスク</td><td colspan="2">インストールに450 MB以上の空き容量</td></tr>
</table>

その他の動作環境について、詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書(PDF)をお読みください。

### 2 CD-ROMを入れる

- インストールメニューが起動します。

### 3 [アプリケーション]をクリックする

### 4 [おまかせインストール]をクリックする

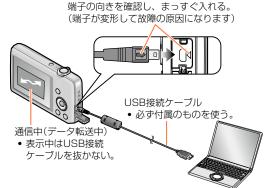
- 画面のメッセージに従ってインストールを進めてください。

●お使いのパソコンに対応したソフトウェアのみがインストールされます。
●「PHOTOfunSTUDIO」はMacでは使えません。


(次のページに続く)

# パソコンに接続する

## 写真、動画を取り込む

**準備：**
- バッテリーを十分に充電しておく。または、ACアダプター(別売)とDCカプラー(別売)を接続しておく。
- 内蔵メモリーのとき：カードを抜いておく。
- 本機とパソコンの電源を入れる。

**1** 本機とパソコンを接続する
- 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。

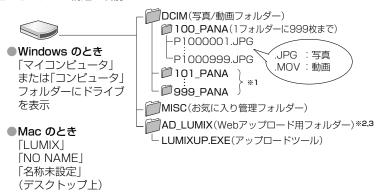
**2** 本機のカーソルボタンで[PC]を選び、[MENU/SET]を押す

**3** 「PHOTOfunSTUDIO」を使って画像をパソコンにコピーする
- 詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書(PDF)をお読みください。

- 取り込みたい画像が入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグ＆ドロップして、パソコンに画像を保存することもできます。

# パソコンに接続する

## 写真、動画を取り込む

■フォルダーの構造と名前

※1 フォルダーは次のときに新しく作成されます。
フォルダー内のファイル数が999枚を超えたとき、同じフォルダー番号のあるカードを入れたとき(他社のカメラで撮影したものなど)。

※2 AD_LUMIXフォルダー以下のファイルを消去すると共有サイトへのアップロードができませんので、お気をつけください。

※3 内蔵メモリーには作成されません。

■接続を解除するとき
- Windowsの場合：タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外しまたは取り出し」を実行
- Macの場合：Finderのサイドバーにある取り出しアイコンをクリック

■Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Mac OS Xをお使いの場合
パソコンとの接続時に設定を[PictBridge(PTP)]にしても、パソコンとPTPモードで接続することもできます。
- 画像の読み出しのみできます。
- カードの中に1000枚以上画像があると、取り込めない場合があります。

●カードの抜き差しは、本機の電源を切ってから行ってください。
●通信中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。すぐにパソコン側で通信を中止してください。十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売：DMW-AC5)およびDCカプラー(別売：DMW-DCC10)を使用してください。
●パソコンの説明書をお読みください。


(次のページに続く)

# パソコンに接続する

## 画像を共有サイトへアップロードする

アップロードツール（LUMIX WEBアップローダー）を使って、写真や動画を画像共有サイト（LUMIX CLUB PicMate/Facebook/YouTube）へアップロードします。
パソコンに画像を取り込んだり、専用のソフトウェアをインストールする必要がないので、ネットワーク接続されたパソコンさえあれば、外出先などでも簡単に画像をアップロードすることができます。
- Windows XP / Windows Vista / Windows 7 のパソコンにのみ対応しています。
- 詳しくは、LUMIX WEB アップローダーの取扱説明書（PDF）をお読みください。

**準備：**
- [WEBアップロード設定]で、アップロードする画像を設定しておく。(P.68)
- パソコンをインターネットに接続する。
- 利用する画像共有サイトにてアカウントを作成し、ログイン情報を用意しておく。

### 1 「LUMIXUP.EXE」をダブルクリックして起動する
- CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」がインストールされている場合、アップロードツール（LUMIX WEBアップローダー）が自動的に起動することがあります。

### 2 アップロード先を選ぶ
- パソコンに表示される画面の指示に従って、以降の操作をしてください。

●LUMIX CLUB PicMate について
- デジタルカメラで撮影した写真を共有・公開して楽しむ、SNS型写真共有サイトです。
  詳しくは、PicMate のサイトをご覧ください。
  http://lumixclub.panasonic.net/jpn/

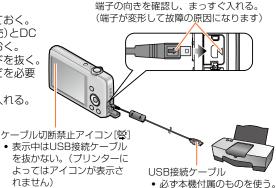
●YouTubeおよびFacebookのサービスおよび仕様変更に対して、将来にわたって動作保証をするものではありません。利用できるサービス内容や画面は予告なく変更になることがあります。
（本サービスは、2011年11月1日現在のものです）

●著作権により保護されている画像は、ご自身が権利を有しているか、関係する権利者から許可を得ている場合を除いてアップロードしないでください。

●画像には、タイトル、撮影日時、GPS機能を有したカメラで撮影された位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。画像共有サイトに画像をアップロードする際は、よくご確認のうえ、アップロードしてください。

# プリントする

PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンターに直接接続し、プリントできます。
- お使いのプリンターによっては、取り出したカードから直接プリントすることもできます。詳しくはプリンターの説明書をお読みください。

**準備：**
- バッテリーを十分に充電しておく。または、ACアダプター（別売）とDCカプラー（別売）を接続しておく。
- 内蔵メモリーのとき：カードを抜く。
- プリンター側で印字品質などを必要に応じて設定しておく。
- 本機とプリンターの電源を入れる。

## 1 本機とプリンターを接続する
- 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。

## 2 本機のカーソルボタンで[PictBridge(PTP)]を選び、[MENU/SET]を押す

## 3 カーソルボタンでプリントする画像を選び、[MENU/SET]を押す

## 4 カーソルボタンで[プリント開始]を選び、[MENU/SET]を押す
（プリントの各種設定：P.83）

■途中でプリントを中止するとき ➡ [MENU/SET]を押す

- プリント終了後、USB接続ケーブルを外してください。
- カードの抜き差しは、本機の電源を切ってから行ってください。
- 接続中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。プリントを中止し、USB接続ケーブルを抜いてください。十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター（別売：DMW-AC5）およびDCカプラー（別売：DMW-DCC10）を使用してください。

# プリントする

## 複数まとめてプリントするとき

**1** 本機とプリンターを接続する
- 付属のUSB接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。

**2** 本機のカーソルボタンで[PictBridge(PTP)]を選び、[MENU/SET]を押す

**3** ▲ を押す

**4** カーソルボタンで項目を選び、[MENU/SET]を押す
- 複数選択：　①カーソルボタンで画像を選び、[MENU/SET]を押す
  （解除するとき→再度[MENU/SET]を押す）
  ②カーソルボタンで[実行]を選び、[MENU/SET]を押す
- 全画像：　すべての画像
- プリント設定(DPOF) DMC-FH6 ：[プリント設定]で設定した画像
- お気に入り：[お気に入り]で設定した画像

**5** カーソルボタンで[プリント開始]を選び、[MENU/SET]を押す
（プリントの各種設定：P.83）

● プリント確認画面が表示された場合は、[はい]を選んでください。
● プリント中にオレンジ色の[●]が画面の左上に表示されたときは、プリンターでエラーが発生しています。
● プリント枚数が多いとき、数回に分けてプリントされることがあります。（残り枚数の表示が設定と異なることがあります）

# プリントする

## 本機でプリントの各種設定をする

（[プリント開始]を選ぶ前に設定してください）

### 1 カーソルボタンで設定項目を選び、[MENU/SET]を押す

| 設定項目 | 設定内容 |
|---|---|
| 日付プリント | ON（日付プリントする）／OFF |
| プリント枚数 | 枚数を設定（最大999枚） |
| 用紙サイズ | を選ぶと、プリンターの設定を優先します。 |
| レイアウト | （プリンターの設定を優先）／（1面縁なし）<br>（1面縁あり）／（2面）／（4面） |

### 2 カーソルボタンで設定内容を選び、[MENU/SET]を押す

- プリンターが対応していない項目は表示されません。
- [2面] [4面]で同じ写真を並べたいときは、その写真のプリント枚数を2枚/4枚にしてください。
- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウトでプリントするには（プリンター優先）を選び、プリンター側で設定してください。（プリンターの説明書をお読みください）
- [プリント設定]設定時は[日付プリント]と[プリント枚数]の項目は表示されません。DMC-FH6
- [プリント設定]をしても、お店やプリンターによって日付プリントされないことがあります。DMC-FH6
- [日付プリント]を[ON]にするときは、プリンター側の日付プリント設定も確認してください。（プリンター側の設定が優先される場合があります）

## 写真に日付や文字を入れる

■お店プリントの場合

撮影日時のみ印刷できます。お店で、日付プリントを指定してください。

- 16:9の写真をプリントする場合は、お店が16:9サイズに対応しているか事前に確認してください。

■パソコンの場合

CD-ROM（付属）のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」で撮影日時や文字情報の印刷設定ができます。

■プリンターの場合

日付プリント対応プリンターをお使いの場合は本機で[日付プリント]（上記）を[ON]に設定すると、撮影日時を印刷できます。

戻る

# 別売品のご紹介

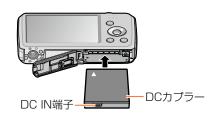
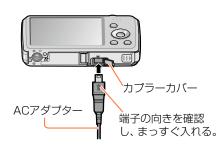
| 品名 | 品番 |
|---|---|
| バッテリーパック※1 | DMW-BCK7 |
| バッテリーチャージャー | DMW-BTC8 |
| ACアダプター※2 | DMW-AC5 |
| DCカプラー※2 | DMW-DCC10 |
| ソフトケース | DMC-FH6<br>DMW-CS5 DMW-CFT1<br>DMW-CFP8 DMW-CX60<br>DMW-CP9 DMW-CX700 |
| | DMC-S2<br>DMW-CS5 DMW-CFT1<br>DMW-CFP8 |
| ショルダーストラップ | DMW-SSTX1 |
| AVケーブル | DMW-AVC1 |

※1 付属のチャージャー(DE-A91A)でも充電できます。
※2 ACアダプターとDCカプラーは、必ずセットでお買い求めください。単独では使用できません。

●記載の品番は2012年1月現在のものです。変更されることがあります。

# 別売品のご紹介

## バッテリーの代わりにACアダプター(別売)およびDCカプラー(別売)を使う

ACアダプター(別売：DMW-AC5)とDCカプラー(別売：DMW-DCC10)を使うと、バッテリー残量を気にすることなく撮影や再生ができます。
ACアダプターとDCカプラーは、必ずセットでお買い求めください。本機の場合、単独では使用できません。

1. バッテリーの代わりにDCカプラーを入れる
2. カプラーカバーを開ける
   - 開けにくい場合は、内側からカプラーカバーを押して開けてください。
3. 扉を閉じ、ロック音がするまで内側にスライドさせる
4. ACアダプターを電源コンセントに差し込む
5. ACアダプターをDCカプラーのDC IN端子に接続する

- 必ず本機専用のACアダプターおよびDCカプラーを使用してください。それ以外を使用すると、故障の原因になることがあります。
- 三脚／一脚の種類によっては、DCカプラー接続時に取り付けることができないものがあります。
- ACアダプター接続時は、本機を立てておくことができません。置いて作業をする場合は、柔らかい布の上に置くことをお勧めします。
- ACアダプター接続時にカード／バッテリー扉を開くときは、必ずACアダプターを抜いてください。
- 使わないときは、ACアダプターおよびDCカプラーを取り外し、カプラーカバーを閉じておいてください。
- ACアダプターおよびDCカプラーの取扱説明書もお読みください。

# 海外旅行先で使う

チャージャーは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

- 電源電圧（100 V～240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがあります。
  ただし、国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。

## ■変換プラグの付け方について

- ご使用にならないときは変換プラグを電源コンセントから外してください。

## ■主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 北米 | | | | | | | | | | | |
| アメリカ合衆国 | A | カナダ | A | ハワイ | A | | | | | | |
| ヨーロッパ | | | | | | | | | | | |
| イギリス | BF, B3 | イタリア | C | オーストリア | C, SE | オランダ | C, SE | ギリシャ | A, B, B3, C, SE | スイス | A, B, C, SE |
| スウェーデン | B, C, SE | スペイン | A, C, SE | デンマーク | C | ドイツ | A, C, SE | ノルウェー | C | ハンガリー | C |
| フィンランド | B, C | フランス | A, C, SE | ベルギー | B, C, SE | ロシア | A, C, SE | | | | |
| アジア | | | | | | | | | | | |
| インド | B, BF, B3, C | インドネシア | B, B3, C, SE | シンガポール | B, BF, B3 | タイ | A, BF, C | 大韓民国 | A, C, SE | 台湾 | A, C, O |
| 中華人民共和国 | すべて | フィリピン | A, O | ベトナム | A, BF, C, SE | 香港特別行政区 | B, BF, B3, C | マカオ特別行政区 | B, BF, B3, C | マレーシア | B, BF, B3, C |
| オセアニア | | | | | | | | | | | |
| オーストラリア | O | グァム島 | A | サイパン島 | A | トンガ | O | ニュージーランド | O | フィジー | A, B, C, O |
| 中南米 | | | | | | | | | | | |
| アルゼンチン | BF, C, SE | プエルトリコ | A, BF, C | ブラジル | A, C, SE | メキシコ | A, C, SE | | | | |
| 中東・アフリカ | | | | | | | | | | | |
| アラブ首長国連邦 | B, BF, B3 | エジプト | BF,B3, C, SE | クウェート | B, B3, C | トルコ | A, B, C, SE | 南アフリカ共和国 | B, BF, B3, C | モロッコ | A, C, SE |

| タイプ | A | B | BF | B3 | C | SE | O |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | アメリカンタイプ | U.K.タイプ | | | ヨーロピアンタイプ | | オーストラリアンタイプ |
| コンセント形状 | | | | | | | |
| 変換プラグ | 不要です | | | | | | |

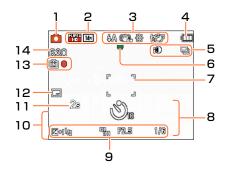
## ■海外のテレビで画像を見る

[セットアップ]メニューの[映像出力]の[ビデオ出力方式]で[NTSC]または[PAL]に設定してください。

## ■時計を海外旅行先の時刻に合わせるとき

[セットアップ]メニューの[ワールドタイム]で旅行先を設定すると、旅行先の時刻に切り換わります。

# 液晶モニターの表示一覧

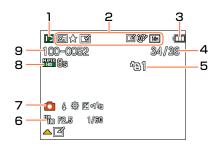
■撮影時

1 撮影モード(P.18)
2 記録画素数(P.53)
画質設定(P.54)
逆光補正(P.22)
3 フラッシュモード(P.42)
手ブレ補正(P.61)
手ブレ警告(P.38)
ホワイトバランス(P.55)
カラーモード(P.60)
4 バッテリー残量(P.15)
5 連写(P.58)
暗部補正(P.57)
6 フォーカス(P.21)
7 AFエリア(P.39)
8 セルフタイマーモード(P.44)
ピントが合う範囲
ズーム(P.40)

9 ISO感度(P.54)
絞り値・シャッタースピード(P.38)
露出補正(P.45)
AF補助光(P.60)
10 現在日時
月齢/年齢(P.51)
11 撮影経過時間(P.24)
12 日付焼き込み(P.61)
13 保存先(P.14)
記録動作
14 記録可能枚数(P.15)
残り撮影可能時間(P.15、24)
残XXhXXmXXs※

※hは「hour(時間)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。


(次のページに続く)

# 液晶モニターの表示一覧

■再生時

1 再生モード(P.62)
2 プロテクト(P.73)
お気に入り(P.71)
日付焼き込み済み(P.61)
カラーモード(P.60)
記録画素数(P.53)
かんたんレタッチ済み(P.65)
ビューティレタッチ済み(P.66)
DMC-FH6
3 バッテリー残量(P.15)
4 画像番号／トータル枚数(P.25)
再生経過時間(P.26)
5 プリント設定済み(P.72) DMC-FH6
6 撮影日時
ワールドタイム(P.33)
月齢/年齢(P.51)
絞り値・シャッタースピード(P.38)
ISO感度(P.54)
7 撮影モード(P.18)
フラッシュモード(P.42)
ホワイトバランス(P.55)
露出補正(P.45)
8 画質設定(P.54)
動画記録時間(P.26)
XXhXXmXXs※
9 フォルダー・ファイル番号(P.25、79)
保存先(P.14)
ケーブル切断禁止(P.81)

※hは「hour(時間)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。

戻る

# メッセージ表示

液晶モニターに表示される、主なメッセージの意味と対処法です。

## ■カードについて

| メッセージ | ここを確認してください |
|---|---|
| メモリーカードエラー<br>本機では使えない状態です。<br>フォーマットしますか？ | • 本機では認識できないカードです。<br>→パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P.37)する。 |
| カードを入れ直してください／<br>別のカードでお試しください | • カードへのアクセスに失敗しました。<br>→カードを入れ直す。<br>• miniSDカード、microSDカード、microSDHCカードをアダプターに入れずに本機に入れた。<br>→必ずアダプターに入れる。<br>• 別のカードを入れてお試しください。 |
| カードのパラメータが異常です | • カードがSD規格に準拠していません。<br>• 4 GB以上のメモリーカードは、SDHCメモリーカードおよびSDXCメモリーカードのみ使用できます。 |
| リードエラー/ライトエラー<br>カードを確認してください | • データの読み込みに失敗しました。<br>→カードが確実に入っているか確認する。(P.13)<br>• データの書き込みに失敗しました。<br>→電源を切ってからカードを抜き、再び入れてから電源を入れる。<br>• カードが壊れている可能性があります。<br>• 別のカードを入れてお試しください。 |
| カードの書込み速度不足のため<br>記録を終了しました | • 推奨のスピードクラスのカード(P.14)を使用しても停止した場合は、データの書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット(P.37)することをお勧めします。<br>• カードによっては途中で動画撮影が終了する場合があります。 |
| 内蔵メモリー残量が不足しています／<br>メモリーカード残量が不足しています | • 内蔵メモリーまたはカードの空き容量がありません。カードへの一括コピーの場合、カードの空き容量分の画像がコピーされます。 |
| このカードは使用できません | • マルチメディアカードを入れた。<br>→本機では対応していません。対応するカードをご使用ください。 |

# メッセージ表示

## ■その他

| メッセージ | ここを確認してください |
| --- | --- |
| 消去できない画像があります／この画像は消去できません | • DCF規格(P.25)に準拠していない画像は消去できません。<br>→パソコンなどに必要なデータを保存してから、本機でフォーマットして消去する。(P.37) |
| 設定枚数をこえました | • 一度に複数消去できる枚数を超えています。<br>• お気に入り設定が999枚を超えています。<br>• 一度に[リサイズ(縮小)]（複数設定)できる枚数を超えています。 |
| 電源を入れ直してください／システムエラー | • レンズが正常に動作しませんでした。<br>→電源を入れ直す。<br>（それでも表示されるときは、お買い上げの販売店にご相談ください) |
| コピーできない画像がありました／画像をコピーすることができませんでした | • 次の場合はコピーできません。<br>→同名の画像がコピー先にある。(カードから内蔵メモリーへコピー時のみ)<br>→DCF規格(P.25)に準拠していないファイル。<br>→本機以外で撮影・編集された画像。 |
| 内蔵メモリーエラー／フォーマットしますか？ | • 内蔵メモリーをパソコンでフォーマットした場合などに表示されます。<br>→本機でフォーマットし直す。データは消去されます。 |
| フォルダーを作成できません | • フォルダー番号を999まで使っています。<br>→パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマットする。(P.37) |
| 16:9TV用で出力します／4:3TV用で出力します | • 本機にAVケーブル(別売)が接続されました。<br>→メッセージをすぐに消す場合：[MENU/SET]を押す。<br>→画面表示の比率を変える場合：[TV画面タイプ]の設定を変える。(P.36)<br>• USB接続ケーブル(付属)が本機のみに接続されました。<br>→ケーブルのもう一方を機器に接続すると消えます。 |

戻る

# Q&A 故障かな？と思ったら

まず以下の方法をお試しください。それでも解決できない場合は、［セットアップ］メニューの［設定リセット］を行うと症状が改善する場合があります。
（ただし、設定は［時計設定］など一部を除き、お買い上げ時の状態に戻ります）

| | こんなときは… | ここを確認してください |
|---|---|---|
| 電源、バッテリー | **電源を入れても動作しない。** | • バッテリーが正しく入っていない。(P.13)または、消耗している。(P.15) |
| | **使用中に電源が切れる。** | • バッテリーが消耗している。<br>• ［自動電源OFF］が働いている。(P.35)<br>→電源を入れ直してください。 |

| | こんなときは… | ここを確認してください |
|---|---|---|
| 撮影 | 撮影できない。 | • 再生モードになっている。<br>→再生ボタンを押して、撮影モードに切り換えてください。<br>• 内蔵メモリーやカードの残量がない。<br>→不要な画像を消去してください。(P.29) |
| | 撮影した画像が白っぽい。 | • レンズが汚れている。（指紋などの汚れがついている）<br>→レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。<br>• 露付きが起こっている。(P.6) |
| | **撮影した画像が明るすぎる。または暗すぎる。** | →露出を補正してください。(P.45) |
| | シャッターボタンを1回押すと、2～3枚撮影される。 | • ［連写］(P.58)を使う設定にしている。 |
| | ピントが合わない。 | • 被写体までの距離に応じたモードになっていない。（撮影モードによって撮影可能範囲が異なります）<br>• 撮影可能範囲から外れている。<br>• 手ブレや被写体ブレしている。(P.38) |
| | 撮影した画像がブレる。手ブレ補正が効かない。 | • 暗い場所でシャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働いていない。<br>→脇を締め、本機を両手でしっかり持って撮影してください。<br>→［デジタルズーム］を［OFF］に設定し(P.57)、ISO感度を［ i ISO ］に設定してください。(P.54) |
| | 撮影した画像が粗い。ノイズが出る。 | • ISO感度が高い、または、シャッタースピードが遅い。（お買い上げ時はISO感度が［ i ISO ］のため、屋内などの撮影ではノイズが出ます）<br>→［ISO感度］を低くしてください。(P.54)<br>→明るい場所で撮影してください。<br>• シーンモードの［高感度］にしている。（高感度処理のため画質が少し粗くなります） |
| | 撮影した画像の明るさや色合いが実際と違う。 | • 蛍光灯やLEDなどの照明下で撮る場合、シャッタースピードが速くなると明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性によって発生するもので、異常ではありません。 |


（次のページに続く）

# Q&A 故障かな？と思ったら

| | こんなときは… | ここを確認してください |
|---|---|---|
| 撮影（続き） | 撮影時やシャッター半押し時に、液晶モニターに赤っぽい縦すじが出たり、液晶モニターの一部または全体が赤っぽくなることがある。 | • CCDの特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。周辺にムラが発生する場合がありますが、異常ではありません。動画では記録されますが、写真には記録されません。<br>• 太陽光などの強い光源が画面付近に入らないように撮影することをお勧めします。 |
| | 動画撮影が途中で止まる。 | • カードの種類により、記録後しばらくアクセス表示が出たり、途中で動画撮影が終了する場合があります。<br>• 動画撮影の際は、SDスピードクラス※が「Class6」以上のカードをお使いください。<br>※SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。<br>• 「Class6」以上のカードを使用しても停止した場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット(P.37)することをお勧めします。 |
| | パノラマ撮影が途中で止まる。 | • カメラを振る速度が遅いと、カメラを止めたと判断し、撮影が終了します。<br>• カメラを振るときに、撮影方向に対して揺れが大きいと撮影を終了します。<br>→パノラマ撮影時は、撮影方向へ並行に小さな円を描くようにして、半周を約4秒の速さ（目安）でカメラを振ってください。 |
| | 操作音が小さい。 | • スピーカーを塞いでいる。 |
| 液晶モニター | 電源が入っているのに、ときどき消える。 | • 撮影後、次の撮影ができるまで画面が消えます。（内蔵メモリー使用時は最大約6秒間） |
| | 明るさが不安定になる。 | • シャッターボタンを半押ししたときに絞り値を設定するためです。（撮影画像に影響はありません） |
| | 室内でちらつく。 | • 電源周波数が50 Hzの地域では、電源を入れてから数秒間、液晶モニターがちらつく場合があります。これは蛍光灯やLEDなどの照明器具の影響によるちらつきを補正している動作で、異常ではありません。 |
| | 液晶モニターが明るすぎたり、暗すぎる。 | • ［液晶調整］で明るさを調整してください。(P.34) |
| | 黒、赤、青、緑の点やノイズが現れる。液晶モニターを押さえるとムラが出る。 | • 故障ではありません。記録されませんので、安心してお使いください。 |


（次のページに続く）

# Q&A 故障かな？と思ったら

| | こんなときは… | ここを確認してください |
|---|---|---|
| フラッシュ | 発光しない。 | • (発光禁止)に設定している。(P.42)<br>• [連写]([フラッシュ連写]以外 DMC-FH6)、シーンモードの[風景][パノラマ][夜景][夕焼け][ガラス越し]設定時は発光しません。 |
| | 複数回発光する。 | • 赤目軽減になっている。(P.42)<br>(瞳が赤く写るのを抑えるため2回発光します)<br>• [フラッシュ連写]を設定している。(P.58) DMC-FH6 |
| 再生 | 画像が勝手に回転して小さく表示される。 | • [回転表示]を にしている。<br>→画像を回転させず、液晶画面全体に表示する場合は[OFF]に設定してください。 |
| | 再生できない。 | • 再生ボタンを押してください。<br>• 内蔵メモリーまたはカードに画像がない。(カードが入っている場合はカードの、入っていない場合は内蔵メモリーの画像を再生します)<br>• [絞り込み再生]になっている。<br>→[通常再生]に設定してください。(P.62) |
| | フォルダー・ファイル番号が[—]で表示される。<br>画像が黒く表示される。 | • パソコンで編集、または他機で撮影した。<br>• 撮影直後にバッテリーを外した。または、残量が少ないバッテリーで撮影した。<br>→消去するには:本機でフォーマットしてください。(P.37) |
| | 再生音や操作音が小さい。 | • スピーカーを塞いでいる。 |
| | カレンダー再生で、撮影日と違う日付に表示される。 | • パソコンで編集、または他機で撮影した。<br>• [時計設定]が正しくない。(P.16)<br>(パソコンの時計と異なる場合、一度パソコンにコピーした画像を本機に戻してカレンダー再生すると、撮影日と違う日付で表示されることがあります) |
| | 撮影した画像にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。 | • 室内や暗い場所でフラッシュを使い撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込む場合がありますが、異常ではありません。撮影ごとに丸い点の位置や数が変化するのが特徴です。 |

## Q&A 故障かな？と思ったら

| | こんなときは… | ここを確認してください |
|---|---|---|
| 再生(続き) | 画面に[サムネイル表示]と表示される。 | • 他機で撮影された写真ではないですか？その場合、画質が劣化して表示されることがあります。 |
| | 撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。 | • デジタル赤目補正( 、 )が動作しているとき、肌色に近い色とその内側に赤い模様などがある被写体を撮影した場合、デジタル赤目補正機能の働きにより、その赤い部分が黒く補正される場合があります。<br>→フラッシュを 、 、 または[デジタル赤目補正]を[OFF]にして撮影することをお勧めします。 |
| | 撮影した動画の音が聞こえない。 | • 動画撮影時に、マイクを指で塞がないようにしてください。 |
| | 撮影した動画の音が途切れることがある。 | • 動画撮影時、本機は絞りを自動的に調整します。そのときに記録された音声が途切れることがありますが、異常ではありません。 |
| | 本機で撮影した動画が他機で再生できない。 | • 本機で撮影した動画(Motion JPEG)は、他社製デジタルカメラでは再生できない場合があります。また、2008年7月以前に発売された当社製デジタルカメラ(LUMIX)で再生することはできません。(2008年7月以前に発売された当社製デジタルカメラ(LUMIX)で撮影した動画を、本機で再生することは可能です) |

| | | |
|---|---|---|
| テレビ、パソコン、プリンター | テレビに画像が出ない。<br>画面が流れたり色が付かない。 | • 正しく接続していない。(P.75)<br>• テレビの入力切換を外部入力にしていない。<br>• 本機の[ビデオ出力方式]を[NTSC]に設定してください。(P.36) |
| | テレビ画面と液晶モニターの表示が違う。 | • テレビの機種によっては、正しい横縦比にならなかったり、端が切れることがあります。 |
| | テレビで動画再生できない。 | • テレビにカードを入れている。<br>→AVケーブル(別売)で接続し、本機で再生してください。(P.75) |
| | テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。 | • [TV画面タイプ]を確認する。(P.36) |
| | パソコンに画像を転送できない。 | • 正しく接続していない。(P.76)<br>• パソコンが本機を正常に認識しているか確認してください。<br>• 本機とパソコンを接続時に[PC]を選択してください。(P.76) |
| | パソコンにカードが認識されない。(内蔵メモリーになっている) | • USB接続ケーブル(付属)を抜き、カードを入れた状態で再度接続してください。 |

## Q&A 故障かな？と思ったら

| | こんなときは… | ここを確認してください |
|---|---|---|
| テレビ、パソコン、プリンター(続き) | パソコンにカードが認識されない。(SDXCメモリーカードを使用している) | →お使いのパソコンがSDXCメモリーカードに対応しているか確認してください。<br>http://panasonic.jp/support/sd_w/<br>→接続時にカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。<br>→液晶モニターの[通信中]の表示が消えない場合、電源を切ってからUSB接続ケーブルを抜いてください。 |
| | LUMIX CLUB PicMate、YouTube、Facebook へのアップロードがうまくいかない。 | →ログイン情報(ログインID／ユーザー名／メールアドレス／パスワード)が間違っていないか確認してください。<br>→パソコンがインターネットに接続されているか確認してください。<br>→ウィルス対策ソフトやファイアウォールなどの常駐ソフトが、PicMate／YouTube／Facebookへのアクセスをブロックしていないか確認してください。<br>→PicMate(http://lumixclub.panasonic.net/jpn/)やYouTube、またはFacebook のサイトもご確認ください。 |
| | プリンターに接続してもプリントができない。 | • PictBridge対応機を使用していない。<br>• 本機とプリンターを接続時に[PictBridge(PTP)]を選択してください。(P.81) |
| | 撮影した日付がプリントされない。 | • 日付プリントを指定して、プリントする。<br>→パソコンを使うとき：<br>CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」の印刷設定で「日付入り」を設定する。<br>• 画像に[日付焼き込み]で日付を焼き込んでおく。(P.61) |
| | プリントすると、画像の端が切れる。 | • プリンターにトリミングや縁なし印刷機能がある場合、その設定を解除してプリントしてください。<br>(プリンターの説明書をお読みください)<br>• [16:9]で撮影した。<br>→お店に依頼した場合、16:9のサイズに対応しているか確認してください。 |
| | パノラマ写真がうまくプリントできない。 | • パノラマ写真は、横縦比が通常の写真と異なるため、正しく印刷できない場合があります。<br>→パノラマ写真に対応したプリンターをお使いください。<br>(プリンターの説明書をお読みください)<br>→CD-ROM(付属)のソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って、プリントする用紙に合わせて写真のサイズを調整することをお勧めします。 |

## Q&A 故障かな？と思ったら

| | こんなときは… | ここを確認してください |
|---|---|---|
| その他 | 本機を振ると「カタカタ」と音がする。 | • レンズが移動する音で、故障ではありません。 |
| | 暗い場所でシャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯する。 | • [AF補助光]を[ON]にしている。(P.60) |
| | AF補助光が点灯しない。 | • [AF補助光]を[OFF]にしている。<br>• 明るい場所では点灯しません。 |
| | 本機が熱くなる。 | • ご使用時、多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。 |
| | レンズ部から「カチッ」と音がする。 | • 明るさが変化した場合、レンズ部から音がして、液晶モニターの明るさが変わるときがありますが、これは、絞り値を設定するためです。（撮影に影響はありません） |
| | 時計が合っていない。 | • 長期間放置した。<br>→再度時計を設定する。(P.16)（時計設定せずに撮ると「0. 0. 0 0:00」の日付になります） |
| | ズーム撮影すると画像がわずかにゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。 | • 倍率によってわずかにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがありますが、異常ではありません。 |
| | ファイル番号が連続して記録されない。 | • 新しいフォルダーが作成される場合は、ファイル番号がリセットされます。(P.79) |
| | ファイル番号がさかのぼって記録される。 | • 電源を切らずにバッテリーを抜き差しした。<br>（フォルダー・ファイル番号を正しく記録できないと、番号がさかのぼって記録される場合があります） |
| | 放置していたら、突然デモが表示される。 | • これは本機の特長を紹介する自動デモです。 |

# 使用上のお願いとお知らせ

## お使いのとき

●長時間、連続して使用すると本体が温かくなりますが、異常ではありません。
●磁気や電磁波、電波、高電圧による画像や音声の乱れを防ぐために、テレビ、電子レンジ、ゲーム機、スピーカー、大型モーター、電波塔や高圧線の近くでは使用しない。
上記影響で正常に動作しないときは、電源を切ってからバッテリーやACアダプター(別売)とDCカプラー(別売)を抜き、再度取り付ける。
●スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。
• スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。
●付属のコードやケーブルを使用し、延長して使わない。
●殺虫剤や揮発性のものを本機にかけない。(変質や塗装はがれの原因になります)

## お手入れのとき

お手入れの際は、バッテリーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。
●汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
●ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
●化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

## しばらく使わないとき

●電源を切ってからバッテリーとカードは抜いておく。
(特にバッテリーは、過放電により故障の原因になります)
●ゴムやビニール製品に接触させたままにしない。
●押し入れなどでは、乾燥剤(シリカゲル)とともに保管する。また、バッテリーは、涼しく(15 ℃~25 ℃)、湿気の少ない(湿度40%RH~60%RH)、温度変化の少ない場所で保管する。
●1年に1回は充電し、いったん使用して、残量がなくなってから再保管する。


(次のページに続く)

# 使用上のお願いとお知らせ

## カードやデータについて

- カードやデータの破損を防ぐために
  - 高温や直射日光、電磁波、静電気を避ける。
  - 折り曲げない、落とさない、強い振動を与えない。
  - カード裏の端子部に触れない、汚さない、ぬらさない。
- メモリーカードを廃棄／譲渡するときのお願い
  - 本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全に消去されません。
    廃棄／譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

## 液晶モニターについて

- 液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。またこれらの点は、内蔵メモリーやカードの画像には記録されませんのでご安心ください。

# 使用上のお願いとお知らせ

## バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。
このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。

● 使用後は、必ずバッテリーを取り出す
  - 取り出したバッテリーはポリ袋に入れ、金属類(クリップなど)から離して保管、持ち運びしてください。

● 出かけるときは予備のバッテリーを準備する
  - スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなります。
  - 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにチャージャー(付属)も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。(P.86)

● バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する
  - 端子部が変形したまま本機に入れると、本機をいためます。

**不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。**

**使用済み充電式電池の届け先**
最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
ホームページ http://www.jbrc.net/hp

**使用済み充電式電池の取り扱いについて**
- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

## チャージャーについて

● チャージャーやバッテリーの端子部の汚れを乾いた布で取る。
● AMラジオからは1 m離す。(ラジオに雑音が入る原因になります)
● チャージャーの内部で音がすることがありますが、異常ではありません。
● 充電が完了したら、チャージャーを電源コンセントから抜きバッテリーを取り出してください。(放置すると、最大0.1 W電力消費)

# 使用上のお願いとお知らせ

## レンズについて

- レンズが汚れたら電源を入れ、レンズ鏡筒を出した状態でレンズ鏡筒を指で固定して、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。（レンズに指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなるときがあります）
- レンズ部を太陽に向けたまま放置しないでください。
- レンズバリア部を触らないでください。（故障の原因になります。かばんなどから取り出すときにも気をつけてください。）

## 三脚／一脚を使うとき

- 無理な力を加えたり、斜めにねじ止めしないでください。（本体、ねじ穴、定格ラベルの損傷の原因になります）
- 三脚が安定していることを確認してください。（三脚の説明書もお読みください）
- 三脚／一脚使用時は、カードやバッテリーが取り出せないことがあります。

## 個人情報について

赤ちゃんモードで誕生日を設定した場合は、カメラ内および撮影した画像に個人情報が含まれます。

- 免責事項
  - 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。
    個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 修理依頼または譲渡／廃棄されるとき
  - 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(P.36)
  - 内蔵メモリーに画像がある場合は、必要に応じてメモリーカードにコピー(P.74)をし、その後内蔵メモリーをフォーマット(P.37)してください。
  - メモリーカードは、本機より取り出してください。
  - 修理をすると、内蔵メモリーおよび設定は、お買い上げ時の状態に戻る場合があります。
  - 故障の状態により上記の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

メモリーカードを譲渡／廃棄する際は、「●メモリーカードを廃棄／譲渡するときのお願い」をお読みください。(P.98)

# 使用上のお願いとお知らせ

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製(コピー)したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。



■このマークがある場合は

**ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報**

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

# さくいん

## あ行



## か行



## さ行



## た行




（次のページに続く）

# さくいん

## な行



## は行



## ま行



## や行



## ら・わ行



## 英数字

QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。

パナソニック株式会社　AVCネットワークス社
〒571-8504　大阪府門真市松生町1番15 号